京城日報

本紙定價 壹部金五錢 壹箇月金七十五錢▲郵税拾五錢▲參箇月前金貳圓▲六箇月前金四圓▲壹箇年前金八圓
廣告料金 五號十五字詰一行一圓五拾錢 別二號▲二號七字詰二圓▲四號九字詰二圓▲三號八字詰一圓五十錢同六號十七字詰一五
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社
電話番號 編輯局 一六、九番 營業部 一六九番 ...

十二月十八日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◇スパルタカス團政綱

スパルタカス團の政綱中には下級民に關せざる軍隊全部を廢し勞働者の民兵赤衞軍を組織する事、將校下士を全廢し、前政府當局全部を解免し勞兵會をして代らしむる事、議會、評議會を廢し執政委員會を選擧し之を統轄する中央委員會を選擧する事、應募超過公債を破棄する事等の如きものあり(アムステルダム電報)

◇獨軍隊過激對抗

巴里來電=伯林に歸還せる獨逸軍隊は必ずしも反革命運動に加擔するものと云ふべからず寧ろ國內の秩序維持の爲め過激派に對抗し現政府を支持するの傾向あり而して一方スパルタカス團は依然として總同盟の煽動に熱中しつゝあり(東京特電)

◇獨外相辭職聽許

獨逸外相ゾルフ博士の辭職は聽許されたり(アムステルダム電報)

◇巴威分離觀測

分離形勢は佛國に依りて煽揚さる

巴威が獨逸聯邦より分離し聯合國と單獨講和を締結せんとするの意志あることは外電の報ずる所なるが右に就き聯合側の態度を觀測するに巴威が單獨講和を希望するは種々の事情より疑ふべからざるものあり而して此形勢は佛蘭西に依りて煽揚せられつゝありと認むべき節あり何んとなれば若し分離の事無くして獨逸民族の新團體出現せんか尨大なる地域と夥しき人口を以て將來大なる實力を保有するに至るべければなり然れば小邦の獨立は聯合國就中佛國の最も希望する所にして從つて獨逸國內の分裂及び單獨講和の趨勢を誘致すべく大に努力する所あるべきは當然の事なり又是れを獨逸側より見るも小邦分離して個々に講和を締結する時は財政の幾分を輕減し得るの便利ありと思惟せらる(東京特電)

◇巴首相意氣銷沈

某所著電=巴威首相アイスネル氏は近來聊か意氣銷沈の傾向あり這は氏が過激派來餘りに毒舌を揮ひたる結果國賊なりとて一部識者の反對に遭ひたるに原因するものなりと(東京特電)

◇ウ氏海洋自由考案

華盛頓來電=大統領ウイルソン氏は海洋の自由に就て左の如き考案を有せりと傳へらる

(一)キール、ダーダネルス其他是等と同樣の狀態にある一切の水路は國際管理の下に置くこと(巴奈馬運河に適用せらるゝものと同一の法規の下に管理せらる(二)物資輸送上に連續的改正を加ふること(三)但し物資及び戰時禁制品に關する法規の一部改正(四)海員傭ひ入の條件に關しては大體一致せしむること(五)國際委員に依りて海洋に關する法規に改正を加ふること

而してウイルソン氏は英國の海上權を損傷するが如きことに就きては一向考慮する所無きもの、如し但し是と同時に英國は他の邦國の有する海軍力をも考慮する所無く如何なる海軍をも建設するの權利を收得すべしと察せらる(東京特電)

◇兩大統領の交驩

巴里來電=佛國大統領夫妻は米國大統領夫妻の爲め大統領官邸に於て公式に饗宴を催し席上ポ佛大統領の演說に對しウイルソン氏の答辭ありたり(東京特電)

◇葉恭綽の渡歐

個人の資格を以て(半官的)講和會議に赴くべき前交通次長葉恭綽氏は二十五日大連發朝鮮經由渡歐の途に就く筈(大連特電)

◇原首相參內

原首相は十七日午前十時參內表御座所に於て天皇陛下に拜謁仰付けられ歲末奉賀の御禮を言上したる後開議の重要事項並に內外政務に就き奏上且つ御下問に奉答する所ありて皇后陛下の御機嫌を奉伺して退出せり(東京特電)

◇司法官增俸

上計

司法省明年度豫算には司法官の年俸增率總額四十一萬圓を計上せるが右は從來司法官の年俸平均額一千六百五十圓にして行政官の平均二千八十圓に比し多大の懸隔あり依つて明年度より平均額を增加し司法官優遇の途を講ぜんとするものなりと(東京特電)

◇陸使節上海へ

支那講和使節陸徵祥氏は來る二十六日上海出發佛國汽船に便乘して講和會議開催地ヴエルサイユに赴くことに決定したりと(東京特電)

◇中村都督東上

中村關東都督は滿鐵來年度事業計畫其他の用件を帶び十八日朝大連より來奉同九時半安奉線列車に移乘朝鮮經由東上せり(奉天特電)

◇中野中將視察

旅順鎭守府司令官中野海軍中將は十七日立山より來奉即日撫順視察の途に就けり(奉天特電)

◇東武官著釜

支那公使館附武官東陸軍少將は十八日朝釜山上陸東萊溫泉に赴きたる後鐵道旅館に投宿せるが十九日夜出發北行の筈(釜山特電)

◎講和會議と日本

豫備會議に不加入

講和豫備會議の第一次會合は英米佛伊四國間に於て開かる、事に決し居り日本は之に加はらざる由なるが元來日本は最初より遠慮して英佛伊間の會合には加はらざりし前例あり殊に又英國邊にては戰爭に於て大なる犧牲を拂ひたるものは講和に於て亦大なる發言權を有せざる可からずとの說を爲すもの多く延いて講和準備會議の如きも之を開き以て大體方針を決すべしとの意見を有するもの多き有樣なれば右諸國以外の日本及び他の聯合諸國は第一次の豫備會議が如何に長く繼續するとも絕對に加はる事無かるべしと(東京)

◎政務總監下仁

山縣政務總監は遠藤秘書官岡土木

◎辭令

今回左の通り辭令ありたり

總督府裁判所書記 總督府裁判所通譯 李熙廸
任總督府判事(八等) 補大邱地方法院慶州支廳判事 大邱地方法院慶州支廳判事 李弘飾
補京城地方法院開城支廳判事 總督府技師 高橋昌利
依願免本官 陸軍三等軍醫正 桐田繁
任總督府道慈惠醫院長(五等) 陸軍一等軍醫 今井百之輔
忠淸北道淸州慈惠醫院長(六等) 全南光州慈惠醫院長を命ず

◎內鮮貿易順調

本年一月より十月迄內地朝鮮間の貿易は年一年順調に發展しつゝあり今大藏省の調査に依れば本年一月以降十月末に至る間に於ける移出品額は九千四百八十九萬九千圓、移入九千九百二萬三千圓にして差引四百十二萬四千圓の移入超過を見之を前年同期に比較すれば移出に於て三千三百十六萬九千圓移入に於て五千三百二十圓の增加を示せり尙本年一月以降十月迄百萬圓以上の移出及び移入を取扱へる貿易港左の如し(單位千圓)

	移出	移入
大阪	三九、九七八	三六、〇一三
下關	二〇、四一八	二七、一五七
神戶	九八一六	二二、〇九六
橫濱	六八五〇	七、五三七
長崎	四、三八〇	五三八
若松	三、六一八	三、六三三
敦賀	一、〇五八	一、三三七

右各港に付き前年同期の取扱高を見るに移出に於て敦賀は前年七千九百餘圓あり本年百五萬八千圓に上り約百五萬餘圓の增加を示せるを筆頭とし長崎の約十倍、神戶、若松の各二倍等を著しきものとなし其他門司の減少したる外橫濱、大阪、敦賀港の取扱は一昨年に比し四十倍の激增に當れるを最とし橫濱の減小したる外若松七倍、神戶、下關各二倍其他門司等何れも增加せり(東京)

◎朝鮮師團完成期

第廿師團は明春四月開廳

宇都宮軍司令官談

久しく東上してゐた軍司令官宇都宮中將は十八日朝歸任したその談に曰く大演習の陪觀を終つて各般の軍務打合せ師團長會議の傍聽などで意外に滯在は永引いた

▲第二十師團

司令部の開廳に就ても中央と多少の協調は行つて來たが新師團は既定の計畫に基づき明年四月一日より龍山に新設せらるゝ事となつてゐる、新師團の隸下には平壤步兵第三十九旅團(平壤龍山兩聯隊)並に龍山步兵第四十旅團(大邱龍山兩聯隊)既設の二個旅團が附隨し野砲兵騎兵工兵等の特科隊は內地の各師團より若干宛の分與を受けて編成するのである、然し乍ら特科隊の整備は色々の都合上到底八年中には六ケしい先づ向後二三箇年を經過しなければその充實は期せられぬのである

▲龍山舊練兵場

の軍營工事は材料や勞銀の騰貴などの原因からその進捗を阻止される事件も起つたらしいが明春四月にならぬと野砲兵も騎兵も編成を始めぬのだし編成に著手しても前述のやうに當初より一個聯隊の充實はこならぬ又陸續得らゝ來さす譯に行かぬのである

▲羅南師團

龍山の第十九師團司令部は第二十師團司令部の新設とゝもに羅南に北進する事となる、羅南には現に步兵第三十七旅團司令部あり騎兵野砲兵兩聯隊本部あり會寧に工兵大隊あり特科

なし得ぬのであるから新營上の一

▲兩師團完成期

以上

陸續は堵兵衛立營等は大體の陪隊は先づ揃つてゐるけれど步兵が前述の如く一個旅團(羅南咸興兩聯隊)であるから明年四月一日より會寧に步兵旅團司令部(會寧羅南兩聯隊)が出來る事となる、此の旅團の步兵も內地各師團より若干宛を集中しなければならない

で朝鮮二個師團は出來て終うので ある、然し出來るのであつて完成するのではない、軍人に非ず、素人より見れば完成かも知れぬが事實は完成でない、軍人の云ふ完成は新師團の編成以來十七年の四箇月の長期間を要する、之れだけの歲月を經過せねば豫備兵、後備兵——乃ち卒業兵が揃はない從つてイザ鎌倉と云ふ場合動員計畫に遺憾なしと云ひ難い、朝鮮師團の完成期は尙ほ前途遼遠である

◎棉作第二期計畫(四)

二十五萬町步を擴張し二億五千萬斤の生產を得んとす

▼獎勵施設(續き)

(四)棉種子の配布は新規栽培者には其所要種子を現品にて給與し翌年其生產したる種子を以て之れを返還せしめ更に新規栽培者に給與すべき種子に充當せんとす(五)開墾地目變換に對する補助は新規事業に屬し新墾地に於ては相當多量の施肥を要するに拘らず數年間は相當の收穫を得難きを以て之れに相當の施肥を爲さしむるを要す然るに之れを地主小作人に强要し難きに依り相當の收量を擧ぐる迄年々肥料を補給し以て土地改良を行はしむるの要あり又旱魃水田の地目を變換して棉作を行ふ場合には之れに對して土地改良の土工を行ふを要し之れに對し補助金を交付せんとす(六)勸業模範場棉作支場の擴張及西鮮地方に於ける棉作試驗機關の新設に就いても本計畫實行と共に施設する所あるべく即ち木浦棉作支場を擴張し左記の事項を行はんとす

(イ)新開墾地旱魃畓及千畓地の利用試驗を行ふ爲試作田を擴張する事
(ロ)陸地棉種子の純系選擇を行ひ優良品種を選出する爲試作田を擴張する事
(ハ)各道に配置すべき適當なる棉作技術員を養成する爲每年十名宛の見習生を收容し一ケ年間棉作に關する學理及實地の技術を習練せしむる事
(ニ)前三項殊に育種事業に對し技手一名助手一名を增員すること

第二期計畫に於ては在來棉の獎勵を行ふに依り精良なる在來棉を栽培する西鮮地方に在來棉に關する栽培試驗を行ふ爲平安南道龍岡郡地方に棉作試驗機關を新設せんとす

左に棉作第二期計畫擴張面積及び大正十七年棉花生產高推算を表示すれば左の如し(完…右計畫は總督府技師稻田要氏擬案…)

▲第二期計畫擴張面積表(△印は減)

道別	既田擴張 陸地棉	既田擴張 在來棉	開墾擴張 陸地棉	開墾擴張 在來棉	地目變更 陸地棉	地目變更 在來棉	現在反別 陸地棉	現在反別 在來棉	將來の反別 陸地棉	將來の反別 在來棉	合計
京畿	…	四〇〇〇	…	…	…	…	…	一〇〇〇	…	六〇〇〇	六、〇〇〇
忠北	四五〇〇	一五〇〇	一〇〇〇	…	…	…	五〇〇〇	一〇〇〇	一〇五〇〇	三五〇〇	一四、〇〇〇
忠南	九七二〇	△一八〇〇	二〇〇〇	…	一〇〇〇	…	一九八〇	九〇〇	一四五〇〇	…	一四、五〇〇
全北	八七八〇	△四〇〇〇	二〇〇〇	…	一〇〇〇	…	七三二〇	四〇〇	一九〇〇〇	…	一九、一〇〇
全南	六三二〇〇	△三〇〇〇	七〇〇〇	…	四〇〇〇	…	四二五〇〇	二〇〇	六二〇〇〇	…	六二、〇〇〇
慶北	一八〇〇〇	五〇〇	六五〇〇	…	二〇〇〇	…	二二〇〇〇	五四〇〇	三九五〇〇	二〇〇〇	四一、五〇〇
慶南	一六〇〇〇	△五〇〇	六八〇〇	…	三〇〇〇	…	一九三〇〇	五〇〇	四五二〇〇	…	四五、五〇〇
黃海	…	一八〇〇	…	一〇〇〇	…	…	…	五二〇〇	…	一八〇〇〇	一八、〇〇〇
平南	…	一二〇〇〇	…	一〇〇〇	…	…	…	七二〇〇	…	二一〇〇〇	二一、〇〇〇
平北	…	一二七〇〇	…	…	…	…	…	五六〇〇	…	九五〇〇	九、五〇〇
計	六四〇〇〇	二三〇〇〇	二五〇〇〇	二〇〇〇	一一〇〇〇	…	八九〇〇〇	三〇〇〇〇	一九九〇〇〇	六二〇〇	二五一、〇〇〇

▲大正十七年生產高推定表

道名	作付反別	實棉收穫高	繰綿高
京畿	六、〇〇〇町	五四〇〇、〇〇〇斤	一三五〇、〇〇〇斤
忠北	一四、〇〇〇	三三五〇、〇〇〇	一一六〇、〇〇〇
忠南	一四、五〇〇	三三五〇、〇〇〇	一三〇〇、〇〇〇
全北	一九、〇〇〇	一九〇〇〇、〇〇〇	六二五〇、〇〇〇
全南	六二、〇〇〇	七二三〇〇、〇〇〇	二四二五六、〇〇〇
慶北	四一、五〇〇	四二一〇〇、〇〇〇	一三三八〇、〇〇〇
慶南	四五、五〇〇	四五五〇〇、〇〇〇	一五〇二五、〇〇〇
黃海	一八、〇〇〇	一八〇〇〇、〇〇〇	四五〇〇、〇〇〇
平南	二一、〇〇〇	二一〇〇〇、〇〇〇	五二五〇、〇〇〇
平北	九、五〇〇	八五五〇、〇〇〇	二一三七、五〇〇
計	二五一、〇〇〇	二五七五〇〇〇〇〇	八〇二七一、〇〇〇

備考、陸地棉繰步合百分の三十三又在來棉繰綿步合は百分の二十五とす

備考、本表田面積は土地調査局に於て調査せる面積を掲記せり又作付見込面積は全羅南北道、慶尙南北道は不耕地步合を一割其他は二割と推定して之れを控除したる面積を記載せり

◎廻穀激增

輸送大繁忙

遲れたりとは雖も朝鮮各地の收穫は十一月末を以て全く終了し農家の年末決濟資金の需要と納稅金の必要並に高値思ひの出穀は十一月末より漸次增加の傾向にあるが十二月に入りては鐵道による鐵道の輸送力は特別輸送により愈々増更に激增を來したり乃ち朝鮮けたる一轉を一掃して更に京義線の急行取消し京元湖南兩線の數列車休止により一日米穀の輸送消化一千六百噸以上を越ゆ居るに十二月十日現在各線の米穀滯貨は左の如き數字を示し居れり

▲各線の米穀滯貨

京釜線	一四、六八六噸
京義線	一、七五八
湖南線	三六、一九
京元線	一七一
合計	二〇一三四

之れを前旬末たる十一月三十日の一萬二千九百二十九噸に比すれば七千四百噸の激增を來し結局上旬間に於ける鐵道出貨は二萬二千噸十五六萬石を算する事となれり主要驛に於ける滯貨額は左の如し

▲京釜線(五百噸以上)

驛名	滯米量	驛名	滯米量
密陽	五〇〇噸	天安	七三〇噸
慶山	六〇五	平澤	四、九〇〇
大邱	五九六	烏山	一、〇〇五
鳥致院	一、三六一	水原	九七七

▲京義線(二百噸以上)

驛名	滯米量	驛名	滯米量
金村	二三	汶山	二八
南浦	四五		

▲湖南線(三百噸以上)

驛名	滯米量	驛名	滯米量
江景	三四〇	裡里	五九〇
金堤	一、〇〇〇	參仁	四四〇

中旬に入つては輸送力の極度を發揮し居るに拘らず尙ほ各驛の滯貨は日漸增加の趨勢にあり月末までには米豆共に豐作の年柄とて一層の出穀を見るべし尙ほ大豆の上旬末に於ける各驛滯貨は五千八百五十噸にして之れを前旬末に比すれば二千二百噸を增加せるがその大部分は京義線にして今後も一層增加し來るべしと

▲總て正味

とするこそ而して籾の賣買には双方より容儀括繩及び口藁を入れ)各百分の五以內を摘出し其平均斤量を以て籾一俵の風袋と做すこと又籾の受渡しに要する諸費用は總て賣主の負擔とし秤器は仲立人之を扱ひ或は双方合意の上他に選定するも差支なき事等に改正實施するとゝせりと

◎京城籾賣買法

京城商業會議所にては過般京城穀物商組合の申合せに係る籾賣買方法改正の件に關し總督府より之れが周知方に付取計らひの依賴ありたるに對し考慮中なるが元來京城のみならず一般籾の賣買に關しては數年來

▲風袋込み

斤量により取引を爲し來り從つて重量を增加せんが爲め包裝に不正手段を行ふの弊害あり當業者の迷惑少からず依つて之れが防止策として本月一日より正味斤量によりて賣買實施の事に決定せるが而も本件は一般取引に關係を有し單に一地方のみにては其の効果充分ならざるより成るべく全般に籾賣買方法改善の主旨を普及せしむるの必要あるものなりとし今般籾賣買方法改正實施の要點を擧ぐれば籾は各俵每の總斤量に依りて賣買し籾の斤量は

◎仁川期米保合

十八日前場の仁川期米は當限三十一圓五十錢より八十錢中限卅一圓四十錢先限三十圓九十錢寄附三十圓九十九錢高値三十圓九十七錢の止めと大勢保ち合に經過せり

◎電報發著增加

歲末の切迫せると朝鮮米豆の出盛期に入りたるとは內地朝鮮間並に朝鮮相互間に於ける電報の發著を激增せしめ最近京城郵便局に於ける一日の發著中繼合計は二萬一二千通の間にあるが下旬に入らば一層增加し或は三萬通に及ぶやも計り難きもの、如し尙は此電報增加の趨勢は一般好景氣のためのみならず休戰等による商品價格の變動も大に與り居るもの、如きに付明春に入るも容易に減ぜざるべしと

▲東京機械改善

客月末開通したる東京京城二番線の東京郵便局に於ける機械は自動機にあらざるため通信能力の發揮に關係からざりしが十五日自動機据附完了したるに付今後電報の遲著は多少速達となるべし唯通數の增加急なるものあり從つて著しき好結果は之れを期待し得ざるべし

◎井戶川少將

平壤第三十九旅團長井戶川少將は水原方面に於ける現地戰爭演習視察を終へ谷澤副官を隨へ十七日夜入京巴城館に一泊十八日午前十時總督府を訪問し二十日朝出發歸任の筈

人事消息

▲朝倉外茂鐵氏(辯護士) 十五日來邱訟用件を帶び大邱へ出張中のところ十八日朝歸京
▲大谷喜平氏(大倉組社員) 同日朝退京
▲長野長次郎氏(三井物産棉花部長) 同
▲中尾清蔵氏(東京藥業家) 同上
▲藤內榮造氏(同上) 同上
▲菊池謙讓氏 十八日朝入京不知火へ
▲和田總督府鐵道局管理課長 十七日午後九時十分南大門驛發列車にて歸任
▲稻田要氏(總督府農務課技師) 國有未墾地實地調査並に米穀檢査狀況調査の爲十七日附を以て黃海道平安南北道へ出張を命ぜらる
▲八島明氏(土木局京城出張所長) 京元山線道路改修工事用木材に關し打合の爲十七日附を以て抱川郡へ出張を命ぜらる
▲岩城信太郎氏(土木局釜山出張所長) 釜山慶州線第一、二區道路改修工事視察の爲十七日附にて蔚山郡梁山郡に出張を命ぜらる
▲大村大代氏(釜山地方法院檢事正) 大邱覆審法院と事務打合の爲十七日附に

▲矢野課長等慰勞招待 恒例により二十八日夜課員本官以下約四十名を南山公園附近に招待忘年會を催ほす
▲牧山代議士 第四十一議會出席の爲め十八日午前八時四十分南大門驛發列車にて東上
▲今村次吉氏(駐露財務官) 十八日朝發ハルビンへ
▲井內勇氏(鮮銀調査局長) 同上

八面鋒

◇ヒンデンブルグ元帥の反革命大陰謀露見せられたりとの報あり。カイゼルを始めルーデンドルフまで相尋いで國外に逃竄せるにも拘らず、獨り元帥のみ居然として勢力を擁しつゝあるは、頗る不可解なる現象にして、之がために或はヒ元帥と社會民主黨との諒解を報じ、或はヒ元帥は本來社會黨員にして軍閥の統領たるは假面を被りしなりとも報ぜられたり。勿論ヒ元帥が自己の掌握せる兵權を假政府に交附したるは事實なるべきも、其に本來の社會黨員なりと速斷するは、少々的はづれの感なくんばあらず。

◇それにしてもヒ元帥が、今日の場合に反革命運動を起せりといふは、餘り信據を置き難きことなるが、軍隊間に名望の盛なる彼にして、果して蹶起したりとせば、一敗のために直に挫折するとなかるべく、將來の注視を怠るべからず。或は近來頻に傳へらる、帝政黨の復興と相關聯するなきや如何。

◇英國首相戰時中婦人の活動を賞揚していふ、婦人にして軍需品製造に從事せるもの百萬人以上、農耕に從事せるもの三十六萬人、陸海軍の補助事務及び看護事業に從事せるもの二十二萬人、內國事業に從事せるもの數萬人、吾人は是等婦女子なくんば戰捷を得る能はざりしと。然り戰時に於ける英國婦人の功績は沒すべからざるものあるべし。然れども吾々日本人を以て之を觀れば、別段驚くほどのことにあらず。

◇日本國の人口を約六千萬人とし內朝鮮人一千萬を除却すれば其の半數は婦人にして、其婦人中日々農耕に從事するもの亦其の半數を算するを得べし。即ち日本婦人の一千二百五十萬人は年が年中農耕に從事するものなり。英國婦人が僅々五箇年の勞働ぐらゐは、御飯前のお茶の子にも値せず。

◇內地の婦人勞働が此の如く盛んなるに反し、朝鮮に於ては、舊來の習慣上、婦人は內房に閉ぢ籠り居るべきものと定まれり。內房に居て家事を經營するは可なるも、內地婦人を手本とし、良人を助けて田畑に勞働するの習慣を養ひ來らば、朝鮮に於ける農產物の收穫が少くとも一割を增加するを得べし。

◇田畝に勞作するを强うるが無理なりとせば、家庭手工に從事するも亦可なり。兎に角朝鮮婦人をして一度は內地を見物し、婦人勞働の標本を示すを要す。

年末、年始の贈物に
アナタの好意を幾久しく記念する
パイン萬年筆を御撰び下さい
▲歲暮贈る優美な化粧箱入御用意有之候▼
割引特價 最新極細式五圓八十錢 同 金飾付七圓八十錢
發賣元 京城本町一丁目 京城日報代理部 振替京城三〇〇

◎謹告
▲愈々寒氣が襲來しました
▲米價調節の聲は一轉して炭價調節の叫となつて居ります
▲如何にして寒氣を凌ぎ又何を以て炭價を調節するかが刻下焦眉の社會問題であります
ペーチカを御推薦するのは獨り個人經濟の爲めのみではありません宮崎式ペーチカ暖房裝置こして最も經濟的衞生的にして且便利なる
說明書贈呈
京城府漢江通八番地 宮崎組 宮崎吉太郎 電話龍山五四二番 振替口座京城五四〇二番

各博覽會共進會受賞 名譽金牌 各官署各地農會御用達
浪速式製繩機
浪花式製繩機名實共日本一
特約店未設地に實物廣告の爲百臺を限定
特價で貸附
●特約者へは店舖提供、資本貸與便法あり
●詳細圖入說明書は御申越次第進呈す
諸機械製造業 大阪梅田新道西側 浪速商會

御歲暮には
白砂糖を……大和軒
俵賣りも致します
京城本町 電話四八九番

優等淸酒 菊正宗
釀造元 福岡縣三井郡川村山 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話四一三九番 振替口座四一三九番
併賣御斷り

カーバイド並に各種ランプ及附屬品
田中カーバイド 鮮滿總代理店
京城南米倉町十七番地 山陽商會 電二九二振替京城三〇五番

鞄……は……高木旅行用具店
京城本町一丁目 電話二五四番
□東京製トランク各種
□專賣柳織鞄一手販賣
□毛布及膝掛各種
□國旗及附屬品一切
□魔法瓶及中瓶取替

大正七年七月一日改正現行

□千古に類なき晴の御慶典は
斯して行はせ給ふ
李王職次官 國分象太郎氏談

王世子殿下と梨本宮方子女王殿下との御婚儀はすべて我皇族方に準じて御舉行に相成るので式場は霞ケ關離宮の大廣間である、霞ケ關離宮は昨年李王殿下御東上の御旅館に充てさせられたところであるが今度は又其處で王世子殿下が御慶典を舉げられることになつたのは好く／＼深い御因緣と申さねばならぬ、方子女王殿下には御舉式の二三日前

賢所皇靈殿に御參拜
遊ばされる筈であるが是は皇族方の御婚儀には恒例となつてゐる極めて重大な御儀である御式は明春一月二十五日の**午前十時から御舉行**遊ばされることに決定して居るが愈その當日となれば方子女王殿下は王世子邸からの御迎へによつて直ちに式場に御輿入になる斯くて御三獻萬端手落ちなく整うた所で宗刻御舉式になるのであるがその時の御服裝は王世子殿下は

金色燦たる陸軍少尉
の御正裝女王殿下はデコルテイと稱する輝くばかりの御洋裝で御式場には皇族方が從來御選び遊ばされた小笠原式に則られ御式場には梨本宮同妃殿下各皇族殿下を首め奉り李王同妃兩殿下御名代長谷川總督、宮内大臣、宗秩寮總裁、李王家御親族總代、閔李王職長官、朝鮮貴族などの參列がある筈で私も亦その末席を汚すことを許されたのは光榮の上にも取分け光榮とする處である

▽兩殿下の御參内
式後朝見の御儀を行はれ畏き邊より御盃を賜はる

御式は約一時間の御豫定である芽出度く三々九度の御盃も相濟み茲に愈萬代ゆるぎなき偕老同穴の御契を結ばれると宮中の御都合で直ちに朝見の御儀を行はれる是は御新婚兩殿下が御同列で宮中に御參内　天皇皇后兩陛下に謁見仰付けられる御儀を申すのでその際**兩陛下からは御祝ひの御詞及び御盃**を賜り御行列には一隊の儀仗兵を附せられると承はつて居る朝見の御儀を滯りなく終らせられると直ちに宮中を御退下遊ばされ王世子邸に御歸還になるのであるが女王殿下にはこの時始めて『李王家の人』として王世子邸に御足を入れさせられる譯である御歸邸後は又更に御色直しと稱して兩殿下の間に簡單な御盃事があり三日目には**御里歸り五日目には御舅開き**を行はれこの間に兩家御親族の御會見がある筈である

▽御歸鮮は四五月
途中伊勢大廟、桃山御陵に御參拜
仁政殿で御披露宴を

東京に於る御披露宴は霞ケ關離宮でいと盛大に催される筈であるが其時日はまだ決定して居ないが大體に於て晩餐會、夜會、園遊會と三回に亘つて催され園遊會には内外紳士淑女數千名を御招待に相成り御歡び頒ち給ふ筈である此御披露宴が濟むと兩殿下御同列御歸鮮のであるが是は多分陽春四月か五月の上旬になになるるべく其御途中**伊勢大廟、桃山御陵**に御參拜御奉告遊ばされる事になつてゐる京城御滯在は約十日間の御豫定でこの間に李王家宗廟御參拜、李王同妃王太王各殿下並に御親族と御對面、御披露宴などがある内地と朝鮮とは全然風俗習慣も違ふし姫宮殿下が成可く御窮屈な御思ひをなさらぬやうに注意しては居るが宗廟御參拜の時には多分古例に從つて**朝鮮の大禮服を御着用遊ばす**ことになるであらう御披露宴は昌德宮仁政殿で催される事になつて居る

★御喜びを齎して　殿内へ伺候せんとする國分李王職次官（十八日午後）

○龍顏益々麗しき
を拜し恐悅であつた……
＝宇都宮軍司令官歸任す＝
『日鮮一家の春を還して同慶だ』

十一月の初めから東上してゐた宇都宮軍司令官は十八日朝古城副官帶同歸任した、軍司令官の專用車は日露戰時の分捕列車で形も違ふし車體が黑く塗られてある、何でもクロパトキン將軍の乘用になつてゐたものらしく軍司令官用として意味のある客車だ──將軍は『僕は話が頓る下手でね』など、ニコ／＼し乍ら低い聲で語る『第一八千萬の同胞と共に誠に歡びに堪へぬのは　**聖上陛下**　の益御健勝に渡らせられ給ふ事である、大演習の時も又その後も屢拜謁を賜はつたが龍顏益麗しく拜せる御容貌を拜し誠に恐悅であつた、朝鮮事情の奏上は恒例により滞なくすまして來た、更に予の歡びに堪へぬのは李王世子殿下と梨本宮方子女王殿下の御婚約である、これは正しく日鮮一家の春の元に還るのであつて内地人も朝鮮人も大に之を擧げて祝さねばならぬ、更に此機に際して──と申しては不敬であらうが、御婚儀御取り結び並に御舉行を好機とし、内鮮人の融和親睦を大に進めなくちやと云つておいて『新聞の如きは此點に大に注意をして欲しい』と附け加へる『莫迦に暖かいやうだが──フーン四溫の入り、ハア時に惡性感冒はどうです、もう終熄した、それは結構だ、吾輩の馬丁は感冒で仆れたが困つたものだイヤ吾輩はおかげで先づ無事だ』隨行の古城副官は語る『東京で恰も師團長會議に際したので朝鮮出身の師團長に皆お目にか〻りましたよ、

新らしい　所で立花第四、古海第十七、白井第八、金久保第十の四閣下がある、白井閣下の如きは吾輩を知つてゐる人には皆よろしく云つて呉れとの事でした、歸りに司令官に隨ひ桃山御陵に參拜し少しの間大阪に立寄つて立花閣下に更にお目にか〻つて來た、例によつて非常のお元氣でした』列車がつくと高島第十九師團長大野參謀長内山歩兵第四十旅團長初め軍師團の幕僚民間有志等の多數が出迎へてゐた

◇特使宮殿下
明春一月御歸朝
◇市俄古よりアリゾナへ

英國よりの御歸途米國に御立寄在らせられたる東伏見宮依仁親王殿下には非常なる盛況の御訪問の後過日市俄古に向はせられたるが其後の殿下の御旅程に關し洩れ聞く所に依れば殿下には市俄古より風光明媚なるアリゾナ州を御巡遊夫れより桑港に向はせられ同地より御乘船明春一月上旬御歸朝の御豫定なりと（東京電）

▽勅許書を奉戴して

國分李王職次官は十七日夜勅許書を奉戴して歸任せるが十八日は兩宮の御都合を伺ひ正午過ぎ先づ李王同妃兩殿下の御前に伺候し勅許書を傳達すると共に御婚儀の經過を巨細に報告申上げ更に馬車を驅つて德壽宮へ伺候し同樣御報告申上げたるに各殿下共太く御歡びありしと申す

○特使宮を迎ふる特別列車
を橫濱埠頭迄

聖上陛下の御名代として元帥刀の御贈進の爲め去る九月下旬御渡歐の途に就かせられたる東伏見宮依仁親王殿下には無事御使命を果させられ米國經由御歸朝の途に就かれたるが來る二十日頃桑港發の東洋汽船サイベリア號に御乘船明春

▲一月六日頃　橫濱港に御着の由にて内地官民は既に奉迎の準備中なるが鐵道院にては殿下御東上の際コンノート殿下御來朝當時と御同樣東京驛より橫濱港埠頭まで特別列車を仕立て殿下を御奉迎申上ぐることに決定したり右列車は普通特別列車にて殿下御乘用の車臺は中央にあり

▲ストツクと　稱して後部は展望車と同型中央に御座所を設らへ寢臺及び食堂も附隨しある特別一等車を以て當てられ木下局長御先導申上ぐる筈にて列車の準備は完全に整へありと

○講和特使等
行を急ぐ

講和議急を要するに付き一行は桑港著と共に其日の汽車にて直に紐育に向ひ牧野男は華盛頓を訪ひたる後一月五六日頃の汽船にて佛國に直航多分ボルドウに上陸す可しと（東京）

○獨逸社會主義者の息子
日本へ來る

過日ブラゴエチエンスク市に於て逮捕されたる獨逸の社會主義者リープクネヒトの子息は目下チタにあるが近日哈爾賓經由日本兵監視の下に日本に送らる、由（敦賀電）

○光瑞師
出征軍慰問の爲
北滿へ

大谷光瑞師は十四日陸軍御用船寧成丸にて來連直ちに旅順に赴きたり師は近日北滿將卒慰問の爲め豫定に依らず能ふ限り遂行すべし（大連）

○山縣公邸の鴨を……
＝御下賜の＝
犯人は不良青年
狙擊して持去る

十四日午後四時頃相州小田原板橋の古稀庵山縣老公邸の別莊裏に於て突然銃聲聞え次いで裏庭泉水に餌を漁る宮内省より御下賜の鴨一對が何者にか打たれて持去られ居るより古口家扶は目下老公不在中の事とて非常に驚き賊を追跡したるに遂に要手の山林中にて姿を見失ひ此旨市智署に屆け出たるより同署にては極力搜査したる結果小田原在早川別莊に滯在中の日本郵船會社佐渡丸船長の伜清水正敏（二七）こて齒科醫學校卒業生にして小田原地方の不良青年と判明し同人を召喚して目下取調中（小田原）

○犯罪者の素質は無かつた
長阪を解剖して……稻本醫官談
◇結核性と梅毒性の病痕を認めた

白骨事件犯人長阪七太郎の屍體は既報の如く十七日午後一時半より京城醫學專門學校解剖室に於て稻本醫官執刀の下に解剖されたが稻本醫官は語る

▲解剖の結果　は尚ほ研究の上でなければ斷定出來難いが肉眼に映じた點から云ふと彼の頭蓋骨の形狀が右側が凹んで左側が凸で居たが内部の腦髓には格別之れと云ふ犯罪を犯すべき素質のあるを認めなかつた而して腦膜の處々に小さい粒が出來て其周圍が增殖して居たので調べて見ると之れは梅毒性三期の變化から來たもので或る事が認められた或は之れが

▲犯罪の素質　となつたか何うかは頗る疑問である又肺臟は兩肺尖部と肋膜との癒着部分の左側に鷄卵大の古い結核性病痕があり右側に鳩卵大の新しい病痕があつた腸は盲腸の部分が腹壁が肥厚して居て腸の内面が約一寸位全部に亘つて非常に糜爛して居た其他に角各所に結核性と梅毒性の病痕は認められたが之れを以て犯罪の素質を構成したとは言ひ難い從つて病理的方面には多少の研究材料となるべきものを得たとしても

▲犯罪を起　すべき病源に就ては何等得る處がないと云つて差支はあるまい然し彼れ七太郎の家庭では借財の爲め父が縊死し一家離散したこともあるから或は精神病的の遺傳性があつたかも知れない是等の點は精細に亘つて研究する筈である』

○賭博常習者
在留を禁止さる
＝關東都督府管内の
京城に居た小峰弘

大阪市西區靫町南通五丁目廿五番地士族戶主小峰信夫三男當時住所不定の無職小峰弘（三〇）は京城にて明治四十年頃賭博をなし罰金五十圓に處せられ其後又賭博犯にて懲役一箇年に處せられ本年四月末出獄後京城本町五丁目に住居し常に賭博を常習として居たる所去る十二月一日南滿鐵線路立山に來り第三區百八十三號地小森義勝方にて山口某外十三名と賭博中取押へられ警務署の手にて取調中の所前記の次第判明せしを以て大正七年十二月十五日より向ふ三年間關東都督府管内に於ける在留を禁止せられたり（鐵山）

○京都にも美術館
建設の議起る

東京に於ける美術館建設の氣運に促され京都市に於ても有識者美術家の間に美術館建設の議起り東京に於るが如く著實なる建設方法に付協議しつつあり遠からず具體的事實として現はるならん（京都）

○鳥類も高い

贈答品として喜ばれる鳥類が暮の街に姿を見せるやうになつた本町の海市について聞くに今年は鳥類の出廻りが尠いので非常に高く昨年にくらべると何も彼も殆んど倍である目下の相場は
雁一羽（小）二圓四十錢（大）二圓八十錢
▲雉番一圓五十錢乃至一圓六十錢鴨番一圓十錢乃至二圓鶉一羽三十五錢
鍋鶴は昔日廻送がないので今の處相場が立たぬが旨く手に入れば先づ一羽七圓から八圓と云ふ處だらう出廻りの尠い原因は大戰にて鳥類の渡りが尠いことこその上鳥獵ちを結氷中の仕事にして居る大陸の人々が暖かいのと景氣が好いのでまだ一般にそうした方に熱中しないからだと

の街から　本町通り

首くゝる細切れもなし歳の暮、蕪村と云ふ親爺も案外野暮天と見えたり、夫世の中は三日見ぬ間の太樂。戰亂以來打續く好景氣に日那の懷布の重ければ『私の紋付は古くなつてよ』と左衛門の尉から晩酌のお銚子を突き付けられる義理にでも行つて見ろと言はればならず、襟も汚れた下駄も減つた、厚板の帯には金鎖、珊瑚の掛は練りで胡魔化しても銀の時計はプラチナには見て呉れまい、と數へ立てたら際限がないから此處で辛抱して置きましやう、とは石に女郎の腑小さけれど、手をひいた子供は無心で歩き巡るのも氣が付かず、魂有頂天の陳列窓覗いて見るだけでも氣の保養とは圓太郎、中にも鳥屋の前に立つた夫婦連はあれかこれかの品定めに家庭圓滿とは知られたり。

○質屋の……
祟り年
◇懷暖い年の瀨

繁昌したのがある一年中の勘定をして懷膨張したそうして寧川暖い新年を迎へようと云ふ年の瀨は辟々こ押し詰まつて來た例年ならば四苦八苦の困みで種々な遣り繰り算段をしてやつこさこ越年する輩が多いが此點になると歐洲戰亂のお蔭は有難いので本年に入つてからの

◆好景氣　が打續いて誰も彼れも多かれ少かれ多少の儲を潤して居る其上本年は一般に賞與のい〻事素晴らしい從つて一般商人はホク／＼ものである事は云はずもがなであるが此好景氣の中でも張り上つたりの商賣が一つあるそれは細民の金融機關として盛んに利用されて居る質屋で世の中が好景氣だこ自然質屋通ひをする者も尠い其上本年は結氷期が例年よりも遲く遲つて來て居るので質物者は非常に

◆懷工合　がい〻ので今から質する者が殆どないこれは質やあつて以來且て見ない現象だ喜ぶべき現象である例年ならばもう此頃にもなると質屋の店頭は入質者を以て賑ふのであるが本年はそれがないので殆んど火の消えた樣な有樣で市内内地人質屋が八十二軒鮮人質屋が百廿軒合せて二百有餘の質屋は青息吐息の狀態である之れではこても遣り切れぬこあつて既に廢業した質屋が三軒に及んで居ると云ふのを見ても本年は如何に質屋の

◆祟り年　か〻窺はれる尤も愈押し詰まで來た頃になると質ゝ多少あるので幾等か景氣がつく譯であるが之れとて本年は古いものよりは新しいものをと云ふ傾向があつて古着類よりも反物類の買行きが盛んだと云ふから餘り當にならないと某質屋の主人は語つて居る

◆川柳壇新設に就て

川柳は平民文學中の最も短き人情詩にして、源を江戶時代に發し、明治三十六年井上劍花坊先生起つてこれを新時代に當てはめしより日に月に隆盛を極めつゝあり、本紙は來大正八年一月の紙上より川柳選を新設し、劍花坊先生を以て選者とし、左の方法を以て弘く全道吟士を迎へんとす。
○用紙「ハカキ」に限る、無制限なれども題毎に『ハカキ』を別にせられたし、○一月十日〆切○京城日報社川柳壇係宛○表面に『川柳壇投稿』と書き入れる事

△題
△京（字結び意味共によろし）
（例）京の町平らなとこで上り下り（古川柳）
（同）京で見た物言ふ花を忘られず（劍花坊）
△城（同上）
（同）桶は鼻をおさへて來た振り（古川柳）
（同）今落る〻日に傾城は拘はらず（同）
△日（同上）
（同）十三日までは大石笑はれる（劍花坊）
△報
（同）諜報の危篤に歸心矢の如し（劍花坊）

○巡査を……
出張させる
◇年末の金錢取引の警戒に

年末に際し銀行會社郵便局所大商店等に於ける金錢取引の盛んなる場所に於ては混雜に紛れて掏摸掻攫ひ等を働く者あり爲めに本町警察署に於ては銀行會社郵便局所及び大商店にして必要と認むる所には制服巡査を出張せしめ警戒に任ずべしと

灯とし

擬宙返り美人飛行家ロー孃の兄──ロー氏が又極端な冒險家で例のナイヤガラの瀑布の上を綱渡りを行つたのも此人活動寫眞から賴まれて世界一の長橋ブルツクリンから手足は勿論身動きもならぬ樣に縛られ加之に袋に入れられて海中に投込まれる泥棒に扮した事もある位デビル・ロー（鬼ロー）で通つてゐる冒險家で最も奇抜なのは有名な紐育のシンカー・ビルヂング附近の火事の際に此の六十二階の上に釘け昇つて屋上のポールに片足を結び付け、自分の身體は宙ぶらりんに街上を俯瞰して寫眞を撮つたこいふ話がある、猶廣告の爲に六十二階の屋上迄煉瓦を蹴走で追ひ廻るこいふ破天荒な事を言出したが之は警察が心配して中止になつた、兎も角此兄にしてこの妹ありこいふべしだ

○新義州通信

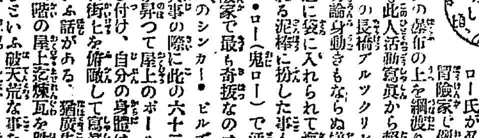
■朝鮮殖產移轉　從來新義州府内……日より朝鮮殖產銀行新義州支店に一切の業務を引繼ぐべしと
■石原府尹出張　新義州府尹石原……三日……

○貨車配給の噂

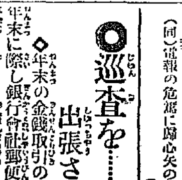
……は來年解氷後なるべしと言ふ……むべしとの噂あり
■柄本判事送別會　釜山地方法院……長より……

○奉天近事

▼スタンダード會社　スタンダード石油會社にては……
▼活動寫眞の招宴　……設置したれば愈々是れより具體的の活動を見るに至るべし……
▼中學堂學藝會　在奉天南滿中學堂にては……五日午前九時より學藝會を……

到る處の文房具店にあり
ラーヂ萬年筆（目錄進呈）


男子用壹圓五拾錢より金十圓迄
婦人用金鍍金式壹圓五拾錢より金拾圓迄
賜宮内省御買上
賜各宮殿下御買上
東京市日本橋區呉服町　文房具問屋學習院御用　酒井長次郎商店　電話本局五一七番　振替東京四九五三


たんせきゼンソク藥　立効丸　東京　守田治兵衛藥房發賣
▼斯る人に偉効あり
●痰咳喘息の持病ある人●咽喉氣管支に故障ある人●常に息切れする人●咳出で夜中眠れぬ人●聲枯れ咽喉痛む人●時々血の交る人●たん多く人●其他感冒のたんせき肺病のたんせき●小兒の百日ぜき等すべてたんせき一切に大効あり
價十錢、廿錢、卅錢、五十錢、一圓
各藥店に有り▼直接本舖へ御注文は振替又は切手代用の事
寶丹本舖（世二）守田治兵衛藥房　東京下谷池之端仲町二十七（振替東京二九八五番）

たんせき ぜんそく
不思議にとれる！
◎痰咳喘息の人は一時も早く立効丸を服用して苦しみを脱せられよ◎服んだその日から目に見えてキ・メが顯れます◎本劑で救はれた同病者澤山あり◎論より證據二三粒を用ひて偽りなき事實を見られよ
▼本劑は甜藥こして
▼ノドに直接の作用あり故に奏効迅速

壹千五百組限り
上等毛布
二枚一組 二圓五十錢
東京市日本橋區本石町一丁目服部屋關谷商店にて前記上等品買色毛布の處分投を始めた品質の善き割に直段の法外に安い事は平素信用ある同店一流の長所にて決して他店の模倣の出來ぬ處也而も二枚つゞき一組乙號只の二圓五十錢甲號三圓五十錢特上製品四圓三十錢白毛布も四圓卅錢と云ふ破天荒の大見切をなし且同店七週年の記念としてメッキでなき自然十八金色指輪を一組の注文者に一個宛の無代進呈をなすと云ふ因に希望者は實物になら內ハガキで申込ば送料なども買賣で送ると

新案特許
福タワシ
御臺所用　洗濯用　こして
嬉しいと思召す事四つ
一、衛生的なこと
二、使ひ心地の良いこと
三、洗濯用として手數のはぶけること
四、經濟的なこと
是非御使用のほど願上候
◎販賣者に御注意　本品の賣行盛況を妬み中傷するものあれど特許局に於て實用新案権を登錄せられたる品に付御安心の上御販賣被下度願上候
本店　東京市深川區古石場町
出張所　大阪市西區江戶堀南通
高木商店

○平南生產品と慶北共進會出品

(六) 平壤府勸業調査主任談

特用作物……蠶

今や絲事業地としての大邱平壤の優劣を觀察するに大邱は現在相當の繭集散し之が買入に就て西鮮地方に比し南鮮の有利なること、水質良好にして石灰分少く生絲の光澤に利すること、平壤地方の如く寒氣凛烈ならざるを以て工場の設上固定資本を減少し得ること等平壤に優れるが平壤は鮮人戸口大邱に倍し工女蒐集に便なると燃料豐富低廉にして大邱より生產費を低減せしむるを得ること、加工原料免税の特典を利用し滿洲、安東縣方面の柞蠶繭を輸入製絲するに運賃關係に於て有利なること等大邱に優れるが如し然るに大邱の記製絲工場は何れも小河川の流域に沿ひ工場用水の使用に便し居れるも細流なるを以て冬季の結氷涸渇に依り用水不足にして井水を以て補はざる可からず大同江は硬軟水の中位にあり一般化學工業用として世界の標準水を凌駕する由なるも石灰分多き爲生絲の光澤に影響する缺點あるが夫れには鑿井を以て充當し得る方法あり普通用水には差支なきを以て決して製絲事業の勃興を阻む程の缺陷と稱す可からず冬季の嚴寒に對する工場建設資金の嵩むと云ふが如きは比較的の深禁にして深く云爲す可きに非ず尤も朝鮮に於ける製絲事業に著目するに至れるは本年四月法律第三十七號を以て發布せられたる內地生絲移入税の撤廢以來のことなるを以て平壤の如き尚一種の研究調査時代にして遠からず優勢なる製絲事業地たるに至る可き斷言を憚らざるなり

畜產 及び製品

出品點數牛百二十頭、豚五頭、家禽二十七羽、乾物百十五點、牛皮五十三點、鷄卵三十七點、豚毛十二點、羅卵三十二點なり

慶北は農耕の盛んなる丈け畜牛の頭數も平南に二倍し距離の關係上內地に移出せらるゝ數も多きが肉牛としては所謂平南に及ばざること遠く體形、品格等向改良を要す可きもの少からざるが如し今家畜に付慶北と平南とを比較すれば左の如し

種類	慶北	平南
牛	一五六、一四〇	八三、九五七
馬	四、四三六	三、六四三
豚	一七、七二五	六三、二五六
山羊	四、八五〇	二〇
鷄	五八、一〇九	三五八、二三六

水產品 及び製品

この出品點數八百四十點あり、慶北の水產業は近來長足の進展を來し出品の豐富にして純然たる水產館を成せる狀況は海岸線湖沼魚類棲息の分布、內地出漁の利便、氣候等の關係に於て到底平南の企及し得る所に非ず、殊に迎日灣は朝鮮第一の鰊漁灣として聞ね浦口たる浦項の發展見る可きものあり、

今秋朝鮮輕便鐵道の開通以來從來釜山の商勢圏に屬せるもの一變して大邱と連續を生ずるに至れり、之を要するに平南に於ける農產、水產の二者は到底慶北に追隨すべからざるなり其產額狀況を比較すれば左の如し

道	價格	製造品
慶北	[illegible]	[illegible]
平安	[illegible]	[illegible]

工產 織製業

出品點數中絹織物百五十二點、綿織物二百九十七點、絹綿交織二十五點、交織物三十六點、計六百六十一點なり家庭工業的出品其他小規模の工場組織に屬する出品は平南と一長一短優劣を判じ難し然して尚州綿布年額二十四萬圓安東麻布年額五十六萬圓義城木綿年額八十八萬圓にして地方機業の發展、製紙文房具莞草製品陳列等努力の跡顯然たりその工場に於て見るに慶北にては工場數三十九、總資本金五十八萬八千圓、從業者數一千百四十二人生產額百六十萬圓にして平南に於ては工場數四十七、資本金不詳從業者數三千百五十六人、生產額千二百三十四萬三千圓なり

將來の工業に就て

之に由つて之を觀れば兩道工業の大勢を窺知す可く農產、水產額等に於て劣勢なる平南は工業に於て寧ろ夫れ以上に慶北より優勢を示せり、尤も慶北に於ても明年度は製絲其他產額を增す可きもの無きに非ざれども平南に於ける明年後の機械工業生產品の激增に比すれば同日の談に非ず若し夫れ計畫中の諸工業就中モンド瓦斯電氣工業の實現後に於ける各種化學工業生產品の價格に想像せば實に驚く可き巨額に達す可く工、鑛生產額の一億萬圓を唱ふる強ち夢想に非ざる可し然して工場を對照して興趣を感ずるは米產地たる慶北の精米が米產地にあらざる平南の一割三分強に如かざること之れなり、這は慶北が貿易港たる釜山に近接し殊に米穀類は釜山に吸集せられ僅に土地の消費用たるに過ぎざるに平南殊に鎭南浦は對海上の關係を吸集すると海陸交通關係に於て輸移出地たるに適せるが爲めならずんば非ず、農產弱なりと雖甜菜糖事業勃興の素質たる甜菜の栽培は西鮮に於ける氣候風土の特有の天惠なるが如く是等幾多の要素集成して我が平南は慶北の農產額に比し劣れる金額の十數倍を工業に依りて得んとする現實なる模樣にある等、徐に比較對照せば無限の興味を感ずると共に此間自から兩道の眞價、特長と將來の發展趨向をト知するに足り同時にその首都たる平壤と大邱の將來に於ける膨脹進展如何を逆睹し得べし

林產品 四十八點

林產品は特記すべき事なし

○釜山運輸狀況

荷は減りたるも收入は增す

鐵道院釜山派出所の十一月中に於る貨物取扱ひ成績は前年同期に比し發送噸數四分三厘、到着に於て三割弱何れも減少し收入金は一割四分六厘の增加を示せり大正七年は貨物專用船として御嶽丸の外第三共榮丸の運航を行うたれ共搬貨能力增大せし爲め自然活躍を呈せしも本年は却つて滿鐵線に於る西伯利出兵部隊の一部撤退輸送の爲め下旬中南に貨物杜絶せしを以て約二千噸當地發にて補充せるを以て如上減少に止まれり發送貨物中米は引續き出貨旺盛にして三千百十三噸一萬五千七百五十五圓にして前年の二千九百四十四噸一萬二千五百三十二圓に比し百六十九噸三千二百二十三圓の增加を示し前年には九州發貨物は第三共榮丸を以て直送せし爲め本品の配布量頗る減勢となり本年度收入金增加步合を示せり大豆は前年の二千四百噸一萬三千四百五圓にして本年度の二千二十一噸一萬四千九百圓に比し三百七十九噸を減じ金額に於て千五百五十九圓を增加せり鮮魚は二百九十四噸千六百八圓にして前年の四百二十八噸二千百七十一圓に比し三十四噸五百六十三圓を減少せり鹽干魚は前月小勢の後を受け七百六十四噸五千三百六十八圓を差し前年の二百一噸千八百九圓を增加せり海產諸肥料としての干鰯粕の生產減退し百八十八噸一千二百五十六圓に過ぎずして之れを前年の五百六十一噸三千三百三十五圓に比し三百七十九圓の減少なり海草は本年掉尾の移出として三百三十八噸千七百九十六圓なり其の他一般好況なりき到着貨物中包裝用品は千九十三噸にして前年の千百十四噸に比し七百二十一噸の減少にして本年度減少の主因なりとす砂糖は前年の二百七十九噸に比し本年は僅に八十八噸の入津ありしのみにして實に百九十一噸を減少せるは仕向地大阪に於ける輸送不如意に基因せり其の他は一般に不況なり(釜山)

○輸送難と金融

◆就中木材業者の困難◆

輸送力の不足に伴なふ輸送難は屢々報ぜるが朝鮮線滿鐵線共に同一の歸趨にして一般當業者の蒙る不利益は非常なるものあるべきも特に新義州、安東縣市場の木材業の蒙る不利益は莫大なるものあり今や其の餘波を蒙り金融界は沈靜界を逸出して漸く危險界に入らんとしつゝあり其理由原因種々あるべしと雖も得意先の註文に隨ひ原木を輸送或は製材を急ぎつゝあるに拘らず安、新兩地の貨車配給は殆んど絕無と云ふも過言にあらざるを以て原木若しくは製材をして徒らに堆積し置くのみなれば資本は啻に固定する一方にして放資して原料代金及び勞銀の回收は絕對に不可能なれば銀行業者も亦貸出を敢戒して容易に放資せず啻に資金の融通に困難を感じつゝある當業者に於ては何時にても資金の回收を得る見込あり乍ら只運を天に任せて貨車配給の多からん事を希望するのみなれば此歲晚の決算期の苦痛は今より推知するに難からず幸ひにして安東新義州間に於て百五十車乃至二百車の配給あるに於ては稍其の危險界を逸出し得べきも左なきに於ては四五の當業者は作業を中止するの悲境に陷り延いて一般經濟界を災する事頗る多大なるべし(安東縣)

○在滿人と居住の安全法

宮越奉天警務署長談

近來奉天にては鐵道の妨害事件あり邦人毆打事件あり引續いて城內の殺人強盜事件ありて忙しくない事ではない今回の城內事件も漸くこゝに日支間に正式の交渉が開始された模樣であるから遠からず解決する事と思ふが只々吾々としては邦人の保護は勿論の事ながら要は世界人類の安寧と幸福とを保維するのが天職であるから寧ろ吾々の目から見れば日支人の

區別や差異は全然

云爲するを要せない所であると思ふ、此の點に立脚して見ると日支人の何れを問はず相互に居住の安全を期するのが何よりの最大急務であると思ふ、居住の安全と云へば其處に生命財產の保護とか人權の擁護とか色々の事が附隨して起つて來るが其れは當然起つて來なければならぬ事であるので此の間

些かでも偏見を

有してはならぬ、何處までも是を是とし非を非として憚る處なく殊に弱者に對する同情と云ふものを失つてはならぬと思ふ、で近來邦人の滿洲發展が漸く顯著になつて來ると共に支那人の僻見が漸次太く深くなつて來ては居ないかと思ふ……勿論日支共存提携を欲してゐる者は大いに親善の實を擧げてゐるものもあるけれども……此の邊は當局は勿論の事一般邦人も

大に心得て置か

ねばならぬ事である、即ち何處までも邦人としては誠心誠意を以て彼等に接し恰も先進國とか優勝國とか云ふ事を鼻にかけず所謂誘掖して相互の利益增進に向つて努力せねばならぬ、相互の利益と云へば我警察權の擴張の如きも確かに其の一つであらねばならぬ、往年城內で邦人藥種商に對し爆彈事件なるものゝ起つた事がある其際支那側は藥種の自然爆發であると主張し日本は爆彈であると主張し遂に其の爆彈を示して全く支那人の所爲である事を明瞭にし犯人逮捕方に對し

又々一問題を起

した、即ち支那側は日本の活動を承知せぬと云ひ日本は正義人道と云ふ大なる立場から論じて遂に活動を承認せしめ直ちに犯人を逮捕して仕舞つた、其の時まで城內に於ける日本警察權は極めて薄弱微なものであつた、が此の事件を切つ掛けに城內に於ける日本の警察權は派出所を置き警部警部補巡査等二十餘名を派遣し得ることゝなつた

萬一今回の事件

でも此の警察力がなかつたならば日本側の犯人逮捕は困難であつた計りでなく支那側では馬賊であると云うて怖れて逡巡してる樣な始末だつたから或は逮捕が出來なかつたかも知れない、現に共犯者二名の檢擧が支那側では今以て出來ぬではないが、此の犯人逮捕が遲延し出來ぬとなれば日支間の

交渉は非常に困難

となる丈け其れ丈け兩者の親善は阻害される譯となる、又更に他方から見ると日本警察權の擴張は恰も支那の司法權警察行政權を侵す樣に見ゆるかも知れないが其れは只盾の反面を見たるもので一方は確に支那側として有利な事となる日本警察は決して目も鼻もなく邦人を保護するものではない

犯罪を未然に防ぎ

且つ邦人でも善良なる者と計りは云へぬから其等の者の行動を監視するのは支那側の利益でなくてはならぬのみならず萬一事件發生の場合は犯人逮捕を容易ならしめ相互の親善利益の增進を計るに極めて好都合であると思ふ此の意味に於て相互の諒解の下に

日本警察の權限

を漸次に擴張して行つたならば處に日支人と云はず何人でも居住の安全が得られる生命財產の保護も遺憾なく行はれる從つて旅行の安全も事業の進捗も期し得らるゝのである、斯うなれば直ちに滿蒙古に於ける

遺利富源の開發

も容易に行はれる事となつて來る是れ即ち相互の利益を增進し親善を形而化する譯になつて來ると同時に所謂正義人道に協ふ所以ではあるまいかと(奉天)

京畿道の工業 (大正六年末現在調査)

種別	價格(圓) 內地人	朝鮮人	外國人	計
織物	七、一二〇	六〇六、〇八四	四、六五五	六一七、八五九
編組物	二四、四四八	二一六、五五二	…	二四一、〇〇〇
紙及紙製品	一九八、四〇〇	三三、一八一	…	二三一、五八一
窯業製品	三八、四三〇	一四、九七六	二、四〇〇	五五、八〇六
金屬製品	一、三三三、四二六	一四四、九七七	五、七五〇	一、四八四、一五三
機械類	三四、八〇七	五、三三九	…	四〇、一四六
木器	三三、八九五	一二九、八二三	三、六八一	一六七、三九九
建諸	一四、三五三	一〇、七六〇	…	二五、一一三
藥品	一六、六〇四	六〇三、六〇六	…	六二〇、二一〇
冠製物	二八、五五〇	五九、一四九	…	八七、六九九
履物	一、〇五五、五六八	九三九、一〇四	一、五〇〇	一、九九六、三五二
布帛製品	九六、七七七	一、五五〇、六〇〇	六〇、〇〇〇	二、五一一、一六七
裝身具携帶品	六七、二〇九	三五、四三三	…	一〇二、五四二
農具	五六、四九六	三一九、六六四	…	一八六、一七〇
酒類	三二一、九七三	一、八九九、三四一	三、九一〇	二、一三三、一二五
日本醬油	四一、五六八	…	…	四一、五六八
麵子	…	二四四、六三三	…	二四四、六三三
穀粉	二六、四三三	五四九、七四一	八一、〇三三	六六七、一七六
菓子及飴	四七〇、八〇三	四四、六七九	一、二二〇	四四六、七八二
煙草	五、〇九〇、七五一	五九五、八四七	…	五、六〇二、六九八
製革	一、七七七、九七六	四四、〇四五	…	一、八二二、〇二六
動物性脂油	二二、二五〇	一、二〇二、四四八	九	一、二二二、四九九
植物性脂油	三、五〇〇	二〇八、六三四	…	二一〇、二三四
蠟燭	一五五、五〇〇	二、〇五一	…	一五七、五五一
肥料	一九六、六九五	三九九、〇〇八	…	五九六、六九三
人蔘製劑	五六〇、〇〇〇	…	…	五六〇、〇〇〇
其ノ他	一、五五七、六八五	一七一、〇四〇	…	一、六九九、七四九
合計	一九、四〇一、八九五	一〇、六〇七、五九九	一五六、七五六	二九、九四七、二三〇

○石炭供給難

安東縣地方に於ける石炭の需用は屢々報道せし如く諸工場の勃興と人口の增加に伴ひ年々非常の增加を示し來りたるが本年既に需用期に入りたる爲め當事者に於ては供給不足等の事なきを期しつゝあるも輸送力は意外に劣く且つ特別輸送等の餘波を受けたる揚句とて需用と供給とは相伴なはず殊に塊炭の如きは其の需用甚だ增加したるも現在に於ては個人の小工業及び採暖用としては殆んど塊炭を買せず大工業家のみに對して漸く其の日其の日の供給に追はれ居る有樣なるより市內の需用者は非常に迷惑し居る模樣なり(安東縣)

○石炭と貨車

◆滿鐵より各驛に充當◆

本年は軍事輸送及び其の他にて今日まで豫定の石炭輸送をなす能はず延いて各地とも石炭缺乏に苦しみつゝあるを見し滿鐵にても愈近々中より機關車四臺、貨車五十輛を專ら石炭輸送用として充當し沿線各地へ配炭なす由なれば茲暫くにして燃料不足の聲は緩和されるに至るべしと(奉天)

○銀は益亂調

◆安東縣市場の大影響◆

安東縣の銀市場は近頃甚だ亂調を極め居り日本人の建値と支那人商人の建値と約二三十錢方の開きあり輸出入貿易業者の蒙る不利益は頗る大なるものあり猶此の儘に持續するに於ては安東の經濟界は攪亂せらるべしと(安東縣)

○氷上渡涉未し

◆鴨綠江の氷未だ固らず 氷の中に落た者

鴨綠江は既に結氷したるも猶氷上通道を見るに到らず去る十四日の晩には中の島より安東に渡らんとして氷中に陷りたる者ありたる由注意を要すべし(安東縣)

○奉天銀行

今回新に創立されたる資本金一百萬圓の奉天銀行は小西關前倉庫金融會社跡を以て假事務所となし愈々廿日より一般銀行業務を開始すべしと(奉天)

○奉天の貸事務所

昨年以來修理完成の豫定前の滿鐵貸事務所は本社の都合により竣工期を早むる事となりたれば本月中には全部完成の豫定たるが既に借受方を申込みたるもの多く優に三倍以上の多數に上り居れりと(奉天)

○木炭の原料

豐富なる大森林 薪炭界の福音

冬季に際して木炭の拂底なるため到る所にて困難し居れるが、全羅北道に涉れる居昌郡山一帶の森林と慶北金泉郡に境せる牛頭嶺山脈は總督府の調査によれば其面積七千四十六町六反七畝歩にして此の材積三千百七十萬五千才と稱せられ松林は少部分にしてクヌギ、ナラ、カシワを以てする闊葉樹林其の九分を占め樹齡卅年內外のもの多く百年內外のもの全山の二割に亘りて大森林の林相を成し居れり若し夫れ薪炭調節として伐採を許可し毎年百町歩づゝ伐採するとせば七十年を要し伐採後に植樹したるものは七十一年目には再び輪伐期に入り永久盡きることなき法定林を保つべし現今薪炭調節の爲め惱みつゝある當局者の調査研究を俟つと云ふ其山林の面積左の如し

多飛山二千六百七十八町七反、德積山千四百廿町七反二畝、金猿山二千百九十町四反七畝、飛來山百二町、反七畝、金谷峰百十八町五反三畝なり(釜山)

○石油饑饉

慶北浦項にては石油大拂底にて旅印一罐十一圓を唱へ居れるが夫さへ品切同樣にて二三合宛の量り賣の外なきにて瓦斯電燈の設備なき土地なれば一般の迷惑甚だしといへり(浦項)

○浦項の鰊

慶北浦項の各鰊漁場は同地鰊組合及水產組合並に漁業組合立會の下に漁場標旗の注設し終り目下の網の敷設中なれば近々中に鰊の漁獲もあるべし(浦項)

○光陽の新漁者

全南光陽にては既に新海苔の走り出でたるが品質良好にて來る二十日の滿潮時より續々產出すべしといふ(光陽)

○年末の大痛事

兼二浦に出來た購買組合 商人は大恐慌

○三菱と購買組合 三菱兼二浦製鐵所に於ては所員及び職工が日用品が兼二浦の商人より買入るゝことは頗る高價なるため自治上購買組合を設けて廉價に物品を購へるべく既に薪炭、石炭、米穀等は會社に於て原產地より直接買入をなしゐたるが今回製鐵所東社宅の居住者は市合に日用諸物貨の購買組合を組織し味噌醬油其他何品にても安く仕入れて賣ると云ふことにする議あり之れを聞きたる市中の各商人は日先き年末を控へ々々敗き大事なれば會合して善後策を考究すべしと云ふ(兼二浦)

○兼二浦博徒

一網二十餘人

兼二浦憲兵分遣所に於ては去る十二日の夜所長高森警部以下二十名の警官隊に別れて市內の一齊搜查をなしたるが內地人賭博二組十名及び鮮人四組二十二名を檢擧したるが內地人にて檢擧せられたる者は兼二浦甲本願寺下大工杉山貴造(三)谷本清(三四)飯田勇吉(二七)津田順造(四十)沖田多丸(三八)及び三菱船舶舍宅船大阪田辰之助(三)松本助太郎(三)貝塚竹松同井上伊太郎(三)の十名なり(兼二浦)

○安い會席

龍山元町新玉樓に於ては今般同樓主新築の開場を始めたり右は和洋折衷の料理七品付にて十八人以上一人前一圓二十錢、酒一本十六錢とし頗る低價を旨とし忘年會新年宴會の會合に便利を計る由にて右披露の爲め龍山官民百餘名を招待して試食會を催したるが七品一圓二十錢にては殆ど利益を見る能はず果して永續し得るや否や疑問なれど料理り者の同樓主の事とて和歌の家時代より經營困難なりし同樓を挽回せしめしは感ずべきことなり

○短銃强盜捕はる

義州市場通り澤一方に短銃携帶の强盜押し入り金品を强奪し去りたるが義州憲兵分隊補澤特務の手にて此の賊を逮捕せり賊は金川震(二九)といふ者なりと

○虎狩隊

年末で獵界は寂寥

平壤に於ける特別狩獵免狀所有者の所謂猛獸狩獵團一行四名は成川郡の奧地及び陽德郡方面にて猛獸の出沒頻々たることを耳にし該地方に遠征を試みることゝなり同地方に向け出發し目下各所に於て活動しつゝあるが猛虎猪等の獲物ありたる由なれば遠て凱歌を擧げて歸壤するも近日の中なるべく而して相當の獲物ありたる場合は大和町片倉組銃砲店門前に於て記念の撮影を爲すべく同店にては歸壤の日を待ちつゝあり尚一般の狩獵界は目下雉子の季節なるも節季を眼前に控へ居ることゝて獵出々敗き攻撃をも開始されず隨つて新年を迎ふると共に相當の便りを耳にすることならん(平壤)

年末支拂ハ例年ノ通リ十二月廿六日午後四時ヨリ六時限

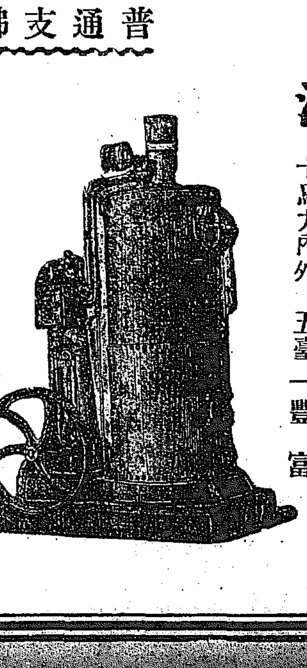
普通支拂ハ例ノ通毎月十日午後五時ヨリ六時卅分限リ

在庫品當工場所在

先安ヲ見込格安ニ放賣ス

機汽
百二十馬力 一臺
三十五馬力 一臺
十五馬力 一臺
十馬力內外 五臺

シャフト 革車
メタル
ベルト類
豐富



徑四尺一寸 高八尺五寸 汽壓百廿封度英國製 一
徑三尺 高七尺 同百廿封度大阪鐵工所製 一
徑二尺六寸 高五尺二寸 同 八十封度水管式 一

鑛山用八角鋼

保稅品所在地 京城仁川鎭南浦

六分 十二噸
七分 三トン
八分 三トン
高速度四分六分一吋
道具用四分六分一吋一吋半

兩ツル手持一斤二百丁

中根式坑內用押揚喞筒

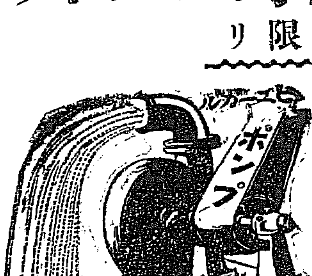
汽筒	水筒	ストローク	臺數
8ヶ	5ヶ	10ヶ	2
5 1/2	3 3/4	5ヶ	2
5 1/4	3 1/2	5ヶ	1
4 1/2	3 3/4	4ヶ	3

複式ウオシントン喞筒 汽筒	吸水管	排水管	臺數
6ヶ	5 1/2	4ヶ	1

ドンキー喞筒 汽筒	排水管	吸水管	臺數
3ヶ	3/4	1ヶ	2

五十尺以上保證ス

(在庫豐富)



鐵管及ゴムホース綿ホース各寸法品揃ヒ

口徑	數
10ヶ	1
8ヶ	1
7ヶ	2
5ヶ	2
4ヶ	3
3ヶ	1
2 1/2	1
2ヶ	2

東京瓦斯電氣株式會社
東京製綱株式會社
中根式鑛山用押揚喞筒製造發賣元
○虎印八角鋼朝鮮發賣元
朝鮮總代理店
京城南大門外 電話一〇四番 中根商會
京城岡崎町 電話一五六番 中根工場

商況

東京株式特電

十八日前場

	寄付	止め
東株	……	一五〇、八〇
同新	……	一六六、三〇
商船	……	一三三、七〇
同新	……	……
郵船	……	……
同新	……	二三七、二〇
東紡	……	二四四、八〇
鐘紡	……	……
同新	……	九九、三〇
富士紡新	……	一〇七、九〇
寶田石油	……	六三、四〇
橫濱取引	……	二二、一〇
新高製糖	……	三〇、〇〇
北海炭坑	……	……
海鐵	……	……
対新	……	……

東京現株中値

十七日	
東株	二一六、〇〇
同新	一九三、〇〇
朝鮮銀行	一五五、〇〇
同新	七七、〇〇
南滿鐵道	一四五、〇〇
第一新株	一一〇、〇〇
第二新株	七二、五〇
南滿製糖	二一、七〇
朝鮮製糖	……
滿洲製粉	……
京城電氣	五七、〇〇
同新	一八、〇〇
朝鮮瓦斯	二二、〇〇
郵船	二〇一、〇〇
同新	一〇四、五〇
商船	一九八、〇〇
同新	一四三、〇〇
鐘紡	二六六、〇〇
同新	二四三、〇〇
東拓	……
朝鮮興業	……

東京期米特電

十八日後場　未着

寄付	三十七圓七十九錢
高値	三十七圓四十七錢
安値	三十七圓六十六錢
止め	三十七圓七十錢

大阪三品特電

十八日前場

十二月限	三五四、〇〇
一月限	……
二月限	……
三月限	……
四月限	……
五月限	三一五、九〇

大阪期米特電

十七日後場

寄付	三十七圓二十五錢
高値	……
安値	……
止め	三十七圓二十九錢

兵庫期米特電

寄付	三十七圓五十二錢
高値	三十七圓五十六錢
安値	三十七圓四十錢
止め	三十七圓四十錢

下關期米特電

十八日前場　正米安

	當限	中限	先限
寄付	三六〇	三六三	三六〇
高値	……	三六四	三六五
安値	……	三六二	三五六
止め	……	三六三	三五六

雜　　穀

●正米弱持合
地方の米况は出穀漸く増加し沿線地方の滯貨又頗次に殖ゑ

仁川市場
は未だ騰勢を示さゞるも地方に於ける買附當業者の買意は稍や鈍りしも其大部分は昨今の仁川に於ける需要は既に出來ず居る模樣にて市場には既に出來ず[illegible]

海岸一帶は累々
米山を築き此の天候の不良を眺め大いに頭を惱まし居れり

氣配又安報
にて更に反落の見る可く嘸に當市場の氣配は人の安値に硬化せず却つて人氣安も一般相場の上に現はれず

追々相場も低落を促がすに至るべし
僅かに小抑し持合ひの商狀を示しつゝあるが何分よ近かの仁川市場が前記の次第にて叙の如き沿線地方に比し却つて割安さなり來りたれば早晩同地に買付に試むる事となるべく其結果は

●鐵材依然續落
休戰以來搾下けの鐵材は年末の切迫に連れ益々不勢の一方にて丸鐵五分の如き愈々百圓の大關門を打ち破りて

九十五圓見當
を唱へらるゝに至れり一分丸乃至二分丸匣處の細物は製品減少の爲め市場品薄にて今尚一分五匣の二百圓見當の高値を維持しつゝあるも康期後は

十五圓乃至二十圓方下落
し板類に至りては過般來値下げの値巾少なかりし丈けに昨今漸く其反動加はりつゝあるもの如く最近迄四十圓以上を唱へられし堺筒用十二枚物は東三十三圓一枚三圓二十錢となり

一氣九圓方の激落
を告げ其他の厚物は百貫目に付

三十圓方の暴落
を見九牧物百八十圓三十牧物乃至五牧物は共に二百圓見當に下り平鐵角鐵類も同じく又一齊に下押を示せり併しながら最高値段より約十圓方の激落を告げ居れる五分丸にて尚戰前の三倍強其他の物に至つては四倍強の高値に當り居れるが大勢は更に續いて低落すべき模樣にて一部當業者の間には戰前の

約二倍
高の見當を目標としつゝあるもの如う先行きは五分丸の人氣を標準として之に對する鋼材商品は自然之と釣合せ居る場合を演ずるや測り難し

●石油は軟弱
前場入荷の豫定なりし英油は貨車の都合にて未だ入荷を見るに至らず市中在荷は相變らず拂底にて相場又引緩まざるも一部地方には多少手持の餘裕あるが如く

元山方面
は品の思感停滯少なからざる模樣にて昨今當地に買込商談を進むる向あるが既に形勢一轉の折柄にて難進むで買取らんとする向なく何れ近々の内には英油の入荷もあるべきより氣配さしては甚だ軟弱なり

●平板低落
平板は四圓一錢も現はれて以來の事もありたるに今回の一層の低落を見るに至り當業者は

月星三圓九十錢
方低落し其他各番を通じて二十錢安となり八十錢を唱ふるに至れり

●雜穀安氣配
雜穀品の着荷ありしも出荷なきため取引極めて閑散にて大豆は十石に付

●鷄卵落付く
雜卵は最近迄の暴騰に反して一時の下落を來し居たるが昨今は落付を見せ中位物は四十錢見當にて取引されつゝあり

下關場帽
朝鮮米は不勢にて出來高減少し玄米は百石に付五十錢安にて安き相場を見せ居れり

各地商況（十七日）

▲大邱米況
昨後場朝鮮米は不勢正米(減切安)正米は内地の朝崩落を入れ市場人氣一層沈靜して二錢五厘安となれり

▲同(常用)　四十三圓三十錢
▲同本月中物　四十三圓十錢
▲同來月物　四十一圓五十錢
▲朝鮮大豆小豆　二十四圓五十錢
▲同上品　二十四圓五十錢
▲同黒豆　二十四圓
▲滿洲赤小豆　二十一圓五十錢
▲深川新大豆　二十一圓三十錢
▲大邱新大豆　二十一圓二十錢
▲元山新大豆　二十一圓

▲肥料の現況　魚肥は前月後より刀鯡二十三本鰊粕十本乾血肥料の如き[illegible]

釜山穀物市場（十七日）

▲玄米(大崩落)　切來內地期米の崩落を報じ外國米の輸入多く先安を見越して[illegible]

京城正米市場

昨日の京城正米は[illegible]

仁川正米

出廻り殆ど無く[illegible]

生魚市場

京城日丸市場は本日は釜山物大部分を占めたる

仁川期米

▲十八日前場（强硬に保合）
第一節　各地入電未着なるも前日強硬の氣先大阪のシッカリなるを移して氣丈に立合ひ當中出來不申先三十圓九十錢一錢安に寄付

市場雜觀

▲大阪前場寄
先三十七圓三十七錢[illegible]

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町三丁目
ナ 仲買店
電話長四四番・九〇五番・八三一番

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町三丁目
大 仲買店
電話長四〇九番

仁川米豆取引所仲買人
圭 大五仲買店
店主 猪飼政太郎
電話長二九〇番・三二〇番・自宅六〇一番

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町
サ 齋藤榮之助
電話長三〇七・三九八番

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町三丁目
三巴仲買店
電話 長三一・二一・二二四番

米穀商 寳賃買之業内追加
仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町三丁目
マ 廣澤正次郎
電話長六五一番

仁川取引所十八日の二月限

前場	
寄付	三十四圓九十七錢
高値	三十四圓九十八錢
安値	三十四圓九十七錢
止め	三十四圓九十八錢

前日との比較

能迄期近攻覺悟
にて安値は買値らいつゝ

白米標準値
三十八圓

白米小賣値
三十九錢
三十八錢五厘

堂島だより
▲休日前熊本の正米頓みに崩れ來りし事は依然硬勢にありしも當地米不味の商狀を呈し[illegible]

安東憶出の記（三）

頑石無坊

◆其黄金時代に……是が將來が與の黄金時代にならねばならぬ……一ツ困つた事は例の輸送問題であつた、此の時代に輸送機關が安東人士の希望通りに動いて呉れたならばヨリ一層の黄金時代を創造したであらうと思ふに惜い事であつた、其れに就いても殘念なのは安東に海運の便が極めて尠少である點である……

毛谷村六助　卅六番角力

九十三席　桃川桂玉口演　浪上義三郎速記

後藤又兵衛は又三郎を育てゝ乳を貰ひながら歩きましたが、乳貰ひに情ないものはありません、親切に否ましてくれる者もあれば、中には又邪見に斷る者もある、飴菓子をしやぶらして漸うに凌いで參りましたのは、豐前小倉の松並木の茶見世がありました故其處へ入つて參り又『婆さん茶を一杯飲まして呉れ』婆『入らつしやいまし』『お赤さんがおむづかりで』又『先頃家内が亡くなつて此子を置いてゆかれて洵に困る、乳が呑たくなると此の通り泣くので弱つてしまふ』婆『それは嘸お困りでございませう、此の邊に乳の出る家がございますればお救へ申しますが、まア飴でもしやぶらしてお上げなさい』と婆は又三郎を受取つて飴を……

見て又三郎は泣き歇んだ、婆『まア御覽なさいまし、婆が抱いたら阿母さんと思つてかお歇みなさいましたよ』又『何うしても女の手の方が宜いものと見ゆる』又兵衛『婆さんは可愛いもの見れて頻りにあやして居る』又『婆さん、俺は鳥渡此先まで行つて用達をして來るが少しの間其子を預かつて貰ひたい』婆『あい宜うございますとも』『恐れ入りますが御心配なく行つて入らつしやいまし』又『それでは直に歸つて來る故何分頼む』と又兵衛は出て行つてしまつた、茶店の婆は子供を預かつて今に歸るかと待つて居たが何時まで經つても歸りません、日暮方になつても歸りませんから婆は驚いた、婆『オヽ是は大變だ、惡くしたら棄子ではないかしら、今まで歸らないといふ事は無い筈、散々茶を喫だり菓子を食たりして此の子を置いてゆかれた節には合つた話しぢやアない、もう少し經つて愈々歸らない……

の後は打絶えて無沙汰をいたしたが、何時訃報を聞いて芽出度う挨拶は歸さして奥へ通し、又兵衛を奥へ通して其つて其角長政は拙者を嫌ふ、何分黒田家を浪人して立退いたと云ふことだが、何ういふ譯で黒田家を立退いたのだ、又『先代孝高と違つて其後につけて面白くない事ばかり、其故黒田家を立退いて仕官いたさうと思つた處、黒田家より苦情が出るので誰も抱へてはくれず、家來には暇を遣はし、妻子を伴れて九州路を經廻つたが、途中で家內には先立たれ、恐く困却いたして、當小倉へ參つて其許に事を思ひ出してお訪ね申した譯である』才『何うも然ういふことであれば黒田家へ斷る譯にもゆくまい』又『例へ歸れと云つても拙者が歸らない』才『是は先達て主人忠俊がその話をいたして、若し又兵衛が參つたことならば是非當家へ召抱へたいと云はれた、早速殿へ申上げたなら喜んで貴公を抱へるであらう當家へ奉公いたすが宜い』又『イヤそれはお斷り申す』才『何故』又『後藤又兵衛を細川家に於て召抱へたと聞いたならば又黒田家より何とか苦情を申し込んで來るであらう、それが爲め御當家へ迷惑をかけては相濟まん』と聞いて澤村才八郎暫く考へて居りました

婆に子供を賴んで置いて小倉の御城内へ參りました、其頃小倉は細川越中守忠俊の居城でございます、又兵衛は茶店の婆に、御家老澤村才八郎の小屋へ參りまして『頼む』支『ドーレ』若侍が出て來て手を支へ『何れからお出になりました』又『拙者は黒田甲斐守浪人後藤又兵衛基次と申す者でござるが御主人へ宜しく取次で下さる樣』『畏まりました』と奥へ入つて此藤が訪ねて來たと聞いて直に玄關へ出て參り才『是は珍らしい、又兵衛でおつたか、能く訪ねて來てくれた、さア此方へ上んなさい』又『其……

暦

十二月二十日
舊十一月十八日　▲辛丑　▲暗劍ひつじさる(西南)　▲のぞく　▲婁

一白	迷惑の相談ん持ち込まるゝ日
二黒	謹みの日なり北は吉、北は凶
三碧	物のゆかねば日なれど旅行は吉
四緑	何もなく思はしくなき日なり
五黄	抱子抜けのする氣味ある日也
六白	働かる日なり何ごとにも宜し
七赤	嬉れしき日にて何ごとも吉也
八白	チヨツト つりあひの取れぬ日
九紫	賑やかなる日何ごとにも宜し

海は必要缺くべからざるものであるかは知らぬが兎も角に安東にはこ一頑の館もない樣に思ふ者もソウ云ふこナアーダ安東へ海こ一ツ海の利用こ云ふ事を絶わず念頭から去らしめては不可ぬと云ふ事を警告して置きたいと思ふ

演藝案內

有樂館
東京小林商會直營 活動寫眞常設館 早川演藝部直營
米國ユニヴアサル會社特約
▲當る十一日より連作品公開 ▲米國ユニヴアサル社ゴールドシール 美人舞踏會 全二卷 ▲喜劇 ▲教育參考 實寫アーモア ▲米國ユニヴアサル會社バツタフライ作品 ▲大活劇 小大尉冒險 全三卷
▲新喜劇 毒繪具 ▲悲劇 無言の婦人

壽館
本町二丁目 電話一〇五〇
英國軒ハレー一行
特別大勉强一金拾錢均一

黄金館
電話(晝間)二二六六 (夜間)二六三七
▲當る十三日より全部差替 ▲大活劇大秘密 第十三篇第十四篇

浪花館
京城明治町 電話二六〇
浪花節競技大會
▲當る十二月三十日より(十三日目)
▲新作 觀音靈驗記

文樂座
本町五丁目 電話三三八
▲大阪女義太夫 矢口の渡 おふね人形

大正館
櫻井町 電話八七三
日本活動寫眞株式會社代理店
◎當る十九日より特別大寫眞 ◎新派大悲劇 國の譽 全六卷 ◎舊劇 首變り大名 全三卷 ◎探偵劇 指輪行衛 五千呎 ▲米國カレム會社製 女探偵 ◎パイナツプル栽培

休戰と毛布
(買遲れて後悔する勿れ)
先頃迄寒氣最も嚴しく……休戰と同時に送付中止と成る不止得此際茶黒色大判二枚組一組三圓四十五錢と言ふ殆ど原毛の價にて賣放つ希望者は至急ハガキで申込あれ代金引換小包で發送す數に限りあり賣切れ後は送付せず
東京神田 株式會社東京金物商品交換所

セキ　トメ新薬　ゴホン錠
本劑ハ呼吸器病特効藥ニシテ肺結核ノ咳嗽ニ流行性感冒、肺炎カタル、喘息、百日咳ヲ全治ス
定價 十錢・廿錢・五十錢・壹圓
各地一品切ノ節ハ本舖ヘ
發賣元 大阪市東區東平野町八丁目 岡本秋雄藥局
藥劑師 岡本秋雄
製藥主任 藥劑師 岡本和雄 謹製
振替大阪四四七六

胃腸病と　タラコン
普通胃腸の藥は只其の時限りの消化を助けて無理に胃液の分泌を促し又は胃液を中和するだけですが此タラコンは弛緩した胃腸の筋肉を引締めて其活動を盛んにし胃液を盛んに胃の消化力を强くし本統に健全な身體となります……
本舖 東京小石川 無量壽藥園

眼科專門
京城若草町
金井眼科醫院
新築落成◉入院隨意◉日曜祭日午前中

GOSPEL 強壯劑
陰萎衰弱性射精早漏 夢精遺精 神經衰弱
東京市下谷區 竹島製劑所 吉田藥種堂

內科 胃腸病
京城本町一丁目
石川醫院
電話二七二九番

入院隨意
京城太平町二丁目七十三(太平町大通り)
片山內科醫院
電話一九五一番

驚く可き効力ある目藥
專門學者の創製した直治水は學理上實驗上絶對優秀の現代唯一の理想的目藥であつて知識階級から專ら賞用せらるゝ進步的良藥である。
直治水
三大特長 ■眼科最新高貴藥を配伍す。■タツタ一瓶にて効驗現はる。■トラホーム木的に視力を強くす。
主効 ▲はやり目 ▲やに目 ▲うみ目 ▲のぼせ目 ▲うみ目 ▲ほし目 ▲血目 其他眼病諸症に偉効あり。
新式点眼器付十錢、二十錢 全國各藥店にあり
本舖 大阪 東京 尹平商會藥房

痔疾專門
京城明治町二丁目(本町より入る中央)
京城久枝肛門病院
電話二一〇二番
院長十一月中旬より出張豫定の處患者の都合に依り當分出張を延期す

大阪商船汽船出帆

(仁川出帆)

神戸大阪行 安東丸	十二月	日正午出
木浦大阪行 信濃川丸	十二月	日正午出
(元山出帆)		
西湖津、新浦、城津、清津行	十二月十九日	後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 安平丸	十二月	日後九時出
(大連出帆)		
上海、基隆、打狗行	十二月	日前六時出
基隆丸	十二月	日後六時出

內地各港出帆主要航路
歐洲行一年四回　南米行一年四回　北米行毎月一回　南洋行毎月一回　濠洲行毎月一回

御注意
京城內外外國航路乘客又ハ荷物御取扱ハ當社京城出張所ニテ取扱ヒ仁川、大阪ノ兩支店
大阪商船株式會社仁川支店 電話二二番
京城出張所 電話二〇〇番

朝鮮郵船出帆

大阪商船、日本郵船等ノ船舶ハ釜山、元山、各港經由ニテ接續ス

▲敦賀行(浦潮發) 平安丸	十二月二十日	淸津發
越後丸	十二月十九日	釜山發
▲浦汐行(大阪發門司、釜山、元山、城津經由)		
▲雄基行(關門發、釜山、各港經由×印)		
×京畿丸	十二月二十一日	元山發
忠淸丸	十二月十八日	釜山發
▲元山雄基線(元山起點各港經由雄基) 穩城丸	十二月十七日	元山發
▲大阪行(浦汐發、城津、元山、釜山) 平壤丸	十二月二十二日	釜山發
▲關門行(雄基發、淸津、城津、元山、各港經由×印ハ江原道不寄)		
×京畿丸	十二月二十三日	元山發
	十二月二十五日	釜山發
忠淸丸	十二月二十四日	元山發
▲金剛山遊覽便(元山發長箭)	毎月六回但日六日每十八日	
▲鬱陵島行(釜山發浦項及各地經由) 莊德丸	十二月十七日	釜山發
▲釜山浦項線(釜山浦項間毎日一回出帆)		
▲濟州島行(釜山發長承浦、麗水、巨文島經由) 昌平丸	十二月二十日	釜山發
▲濟州島行(木浦發東廻ハ所安島經由、西廻ハ島嶼子島經由) 慶興丸 公州丸	十二月十六日 十二月十九日	木浦發
東廻 西廻 ▲釜山麗水線 釜山、麗水間往復	毎日一回出帆	
▲木浦麗水線(釜山行麗水ニテ接續) 互濟丸	十二月十九日	木浦發
▲多島海行(木浦發多島海各島行) 慶興丸	十二月二十二日	木浦發
▲木浦行(仁川發各地經由) 全州丸	十二月 日	仁川發
▲海州行(仁川發江華島經由)		
仁川、海州相互ヨリ毎日一回出帆		
▲鎭南浦行(仁川發各港經由) 晋州丸	十二月 日	仁川發
▲大連、青島行(仁川發芝罘經由) 江原丸	十二月廿八日	仁川發

詳細ハ本社營業課並出張所代理店ヘ御問合アレ
本社 京城南大門通(電話長一九五二)
支店 釜山海岸通 元山 仁川 佐藤町 山出張所
代理店 木浦代理店 元山堀回漕部 京城鐵道局各驛 京城松原運送店
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ 電話長一一〇七

日本郵船仁川出帆

大連、秦皇島行 酒田丸	十二月三日	朝出帆
都合ニヨリ早發スルコアルベシ 模丸	十二月十五日	正午出帆
高砂丸	十二月廿六日	正午出帆

仁川海岸町二丁目(電話十番) 堀回漕部

汽車時間表

京釜線(南行) 同(北行)　湖南線(南行) 同(北行)　京義線(北行) 同(南行)　京元線(北行) 同(南行)　京仁線 仁川行 同 京城行　釜山連絡　京釜連絡
[illegible]

京城日報 第五版

[illegible]決定せるが如き[illegible]に要する第一線に立つべき主力艦隊の編制[illegible]分は目下調査中にして明かならざるも約一百萬圓を要する見込なり[illegible]には關係なきも第二戰列に入るべき[illegible]の如き建造すべき艦[illegible]驅逐艦ならば[illegible]

○海運界の前途

歐洲大戰局の結果我海運界の前途に關し悲觀說を唱ふる者あるも吾[illegible]其戰線に在る各軍隊を引揚げ[illegible]の施設をして平時狀態に復するまでには是非少くも兩三年を要すべ[illegible]に移れる後[illegible]に於て軍需物資の供給不必要となるも一方に於ては各交戰國共に戰爭に因り消耗したる[illegible]なり尤も現在の運賃傭船料の如き[illegible]に延いて海運界の活動を必要とす[illegible]るを以て毫も悲觀するの必要なき[illegible]

西伯利政局の紛爭に就て

京城日報

一

西伯利に於ける政局の紛爭は、對手双方互に囲讓して容易に解け去らず、之がために鐵道輸送の妨害となり、武裝解除に關する問題と錯り、頗て面白からざる影響を時局の上に與へつゝあり。セミヨノフ[illegible]て非なるか、コルチヤク[illegible]して是なるか、そは吾人の關する所にあらずと雖も、我が出征軍の努力に依りて、折角秩序恢復に向ひたる邊遠地方をして、個人の野心個人的感情の衝突よりして、又しても紛亂の巷と化せしめんとするは、斷じて傍觀するを得ず。由來我が日本帝國が東亞平和の支持者として自ら任じ、他も亦之を許すのみならず、歐洲戰爭以來、列國も殊に重きを我邦の上に置きつゝあるは、爭ふべからざるの事實なり。蓋し亞細亞は亞細亞民族の亞細亞なるが故に、亞細亞民族のチャンピオンたる日本帝國が、亞細亞の安寧秩序を維持するを念とするは、極めて正當の事にして、其間寸毫も疑惑を挾むの餘地なし。若夫西伯利亞にして再び禍亂の裡に埋沒せんか、直接に影響を受くるものは、其の接壤地たる我邦と支那ならざるべからず。而も支那の昨今は、眼前自國內の紛亂をも理め得ざるの內的狀態に在るが故に、露領の治安に關し、何等權威ある措置を執る能はざるは、今更めていふに及ばず。獨り我邦は既に關係列邦の諒解を得て、現に軍隊を進めて其の秩序を支持しある以上は、其關係範圍に於て、何者たりとも勝手の振舞を爲し、治安秩序を傷ふるを許さゞるは論ずるまでもなきことなり。

二

帝國は既に聲明したる如く、西伯利に對して些かの領土的野心を有するものにあらず。動かすべからざるの條理を根基とし、隣邦に對する情誼を重んじ、許多の犧牲を忍び、其の秩序の支持者たるものなるを以て、之に對して支障を與ふるものあらば、其の何國たると何人たるを問はず、斷乎たる行動を執るの自由あるものとす。或は藤井第七師團長がセミヨノフ討伐に向へるウオルコフ軍に對し、武裝解除を命じたるを已甚なりとし、他の列邦との國際關係を惹起せんことを憂慮するものあるも、是れ固より過慮のみ。其理由は前段に述べたるものより演繹し得るのみならず、後貝加爾一帶の鐵道沿線は、我出征軍の權力範圍に委せられたるものなるが故に、此地域內に於いて妄りに兵戈を弄するを禁止するは、當然の措置たらざるべからず。萬一之を看過する如きあらば、是れ帝國の威信を損じ、面目を辱かしむるの大なるものにして、之に向つてこそ大なる非難を加ふるの價値こそあれ、藤井中將が當面の措置に對しては、毫も間然する所あるべからず。

三

されば藤井師團長の措置を以て聯合國との間に何等か隔意を生じたる如く揣摩するは固より當らず。さりながら西伯利政局の紛糾を圓滿に解決するには、聯合國間相互の諒解と合意とを要するが故に、此の方面に關しては當路に於て十分に考慮する所あるべし。吾人は暫らく事の落著如何を注視せんと欲す。今は只記して世の誤解せる流言を正すのみ。

列強對支那經濟發展(五)
山東鐵道と鑛山(續)

獨逸が山東鐵道の組織を獨支の合辦としたるは彼の露國が東清鐵道を露清合辦としたる規定に倣ひたるものにして體面を重んずる支那をして國家の面目を保たしめたる空文に過ぎざるとは資本金五千四百萬馬克五萬四千株が如何に募集せられたるかを見ば全く首肯するに足る今秦を眺ひて一々引受け銀行及び引受人等を掲げざるも全然獨逸民間銀行並に獨逸資本家より募集せられたるに徵しても知るを得べきなり而して獨逸政府が山東鐵道會社に與へたる特許命令に依れば本鐵道に關する一般經營事項に[illegible]要なる監督權は總て膠州灣政廳に存する者にして政廳は會社に對し其企業の遂行上必要なる命令を發し又は[illegible]し得るの規定あるを見れば[illegible]道の一會社と云ふ能はざる色彩は正に▲半官的特許 を[illegible]と謂ふも溢言にあらざるなり[illegible]山東鐵道會社を組織したる資本[illegible]なるものは獨逸が極東政策を遂行せんが爲に成立せしめたる特殊の資本團なるが故に普通の商事會社と見るべからず從つて獨逸政府と此資本團とは特別の關係を有するが故に自然山東鐵道會社は獨逸政府に對して各種の義務を負擔し居れるが其顯著なるものを茲に舉ぐれば第一は膠州灣政廳が負擔する港灣設備及び行政費の一部を負擔するの義務を有することこれなり而して其負擔義務の按排を見るに鐵道の利益分配が資本額に對して五分を超過する場合に於て生じ▲配當高五分 乃至七分の時は超過額の二十分の一を七分乃至八分の時は超過額の十分の一を一割乃至一割二分の時は超過額の三分の一を一割二分以上の時は超過額の二分の一を膠州灣政廳に納付すべき旨を特許狀に依て命ぜられ其の第二は獨逸政府が六十年後に於ては評價委員の評價格を以て同鐵道を買收する權利を保留し居れるが獨逸政府は此買收權利を保留すると同時に萬一の場合を豫想して此の期間內と雖も一箇年の平均配當金額の二十五倍を以て何時たりとも買收し得べき權利を保留したるなり此精神を類推するに山東鐵道が獨逸の極東政策上如何に遠大なる目的を有し居れるかは自然了解し得べきにあらずや思ふに獨逸が一商事會社として設立したる所以は一に對外政策上他國を牒著し財務行政上容喙として經營するの不利を免れんとする狡猾手段たるに過ぎざるを知るを得べきなり日露▲戰役の結果 我國に收めたる東清鐵道と比較研究せんに官業的色彩を帶ぶると反して東清鐵道の比にあらず東清鐵道には此等の政府買戻しに關する何等の規定なかりしのみならず會社成立の要素たる株式分配の如きも支那政府に對して多少の權利株を賦與して露清合辦たるの體裁を整へ且二十五箇年後に於ては支那政府に買戻し得るの權利を與へ而も六十年後に於ては無償にて支那に返還すると云ふ有利なる條件を規定し居れるなり然るに此東清鐵道は日露戰爭の結果軍事的利用せられたるを以て途に此理由に依りて▲我國に割讓 せらるゝの運命に陷れり當時之に對して露國は勿論支那及び歐米列強も當然の事として何事の故障を挾まざりしは世人の齊しく知悉する所なるべし露國政府と東清鐵道の關係よりも山東鐵道と獨逸政府との關係の密接なることは實に此の如く而して大戰開始以來特に日獨國交斷絶前後に於ては軍事上に使用せられ軍器彈藥は勿論糧食の補充甚だしき兵員の補充迄此鐵道に依りて行はれ青島の防備爲に一層固く我攻圍軍をして豫期以上の犧牲を拂はしめたるに想到すれば之を我國に收むることは當然の措置と謂はざるべからず予は既往支那鐵道問題を研究し▲鐵道の敷設 せらるゝ所即ち勢力の扶植せらるゝ所なりとの眞相を知るに當り所謂鐵道分割なるものが最早大半行はれたる實狀を審らかにして慄然たるものありたり

所では如何に領土が保全せられはさて完全なる支那の獨立を危くするに至るべきを思ひ將來出來得べくんば戰後支那の未成鐵道より全然列國の政治的意義を撤回し去る方針に依りて敷設權若しくは敷設權に等しき凡ての權利を支那に回收し列國には單に借款權を賦與し名實共に純然たる經濟的關係に止め置かんとするの理想を有す幸ひにして此理想が列國の容るゝ所となり若し又列國も此點に深く考慮するの時期に至らんも山東鐵道の如きも進んで▲支那に返還 するを辭するに非ざるべきを信ずるものなり若し否らずして今日の如き狀態を持續するとせんか山東鐵道は長く我國に收容所有すべきことを主張せざるを得ざるなりされより少しく山東鐵道の經濟的價值及び將來の運命を顧慮せざる可からず([illegible]經濟通報)

獨逸革命の意義(三)

東京 一記者

從つて新政府の此態度は這回の革命を八百長なりとしてゐる聯合國の觀測を、益強めつゝある所以で、彼のリーブクネヒト一派は極力新政府に反對して居るものだと云ひ又少數社會黨も

▽宰相エベルトの 斯る如き方針に對しては、衷心より同意して居るや否や疑問である其の態度如何は今後の形勢を左右すること少くは無いであらうと思はれると同時に獨逸の各地に於て勞兵會なるものが成立して革命の思想の中心となるに至つたが、是れ全く露國革命の前例に倣うたもの、如く觀ぜられる、而して政權は一時全く

▽勞兵會の掌中 に在つたのであるが、其の後新政府の方針が妥協的となつて來て、政府と勞兵會との間に漸く乖離を生じようとするやうな兆候があつたのである、リーブクネヒト一派は乃ち此の機に乘じて、各地勞兵會を過激派的なものにしやうと努めたのであるが、此一派の勢力は微々たるもの、如く、結局各勞兵會は依然として、少數社會黨と行動を共にせんとするものであつて、新政府は最近に至つて各地勞兵會に妥協を申込んだといふことであるが、果して妥協が成立するや否や頗る刮目すべき價値のある問題である

▽次には革命に 對する獨逸軍隊の態度は如何といふ問題であるが、獨逸今次の革命が、案外流血の慘事を見ずして比較的速かに舊權力の打滅を了したるは、職として各地所在の軍隊が之に追從したといふことに依るものであつて、ヒンデンブルグ元帥の如き軍國主義の權化が、唯々として社會黨の權力に服從したといふばかりでは無く、社會黨代表者を大本營に招待し秩序回復に就て援助を提議したといふが如きは、實に一種奇異の感に打たるゝわけである、然し乍ら獨逸軍隊の兵卒中には約三分の一は社會黨に屬してゐたといふことであれば

▽大勢終に止む を得ざるに出でたものであらうと想像されるのである、次には獨逸國の政體問題であるが、革命の結果從來の統治者が退位して、獨逸國及び各聯邦が共和制とならんとしてゐることは國內一般の趨勢である、而して先づミュンヘンに於けるアイスネルのクーデターを初めとして、獨逸皇帝及び皇太子の退位を爲すに至り、更にサクセン、オルデンブルグ、バーデン、ウユルテンベルグ、ヘッセン等各聯邦皆其の例に倣はんとするの狀態になつて來てゐるのである。尤も今後の獨逸國の政體は來る可き政體會議に於て決することゝ成つて居るのである◎

▽既に社會黨の 兩派間には共和政體を執る可き儀に一致して居るのみならず、最近成立したといふことである民主進步黨の政綱中にも第一に共和政治の確立といふことを宣言してゐる始末なれば、獨逸將來の政體は無論共和に相違は無かるべく、聯邦各國も亦其の例に倣うて結局多數共和國の集まつた合衆國となるに至る可く觀測せらるゝのである

世界製鐵變動
獨逸輸出激減

世界に於ける製鐵事業は歐洲戰亂の結果として多大の變動を來したるが今戰爭開始前即ち千九百十三年に於ける△世界產鐵狀況 を見るに銑鐵の總產額は七千七百八十九萬餘噸にして之を主要國別に示せば左の如し(單位英噸)

國名	產額
米國	三〇、九六六、一五二
獨逸	一九、〇〇四、〇二三
英國	一〇、四八一、九一七
佛國	五、二二七、三七八
露國	四、四七四、七五七
墺國	二、三三五、一七〇
白國	二、三一八、七六七
加奈陀	一、〇一五、一一八
瑞典	七二八、一〇三
西國	四一八、〇六一
伊國	四二〇、一一〇
共他	五〇〇、〇〇〇

次に世界の鋼產額を見るに

米國	三一、三〇一、〇〇〇
獨逸	一八、九五九、〇〇〇
英國	七、六六四、〇〇〇
露國	五、一一一、〇〇〇
佛國	四、六三五、〇〇〇
墺國	二、六八三、〇〇〇
白國	二、四六七、〇〇〇
伊國	八四六、〇〇〇
瑞典	五八三、〇〇〇
西國	三二〇、〇〇〇
日本	二五〇、〇〇〇

而して之等各國が戰前△自國外に輸出 せしもの、額は

獨逸	六、八〇〇、〇〇〇
英國	三、四〇〇、〇〇〇
米國	二、九〇〇、〇〇〇
佛國	五〇〇、〇〇〇
白國	五〇〇、〇〇〇

即ち獨逸の鐵鋼輸出額は一箇年戰前六百八十萬噸に上り英國輸出額の二倍米國の二倍半に相當せり然るに戰爭勃發後に於ては各國共製鐵業の狀況を極めて秘密に附し居るを以て其實狀を知り難きも兎に角著しき變動を來したるは事實にして白國の輸出は全然中止し佛國は鐵鑛地の大部分が戰亂の巷と化したるを以て卻つて△輸入國と變じ 獨英亦多大の產額減退をなしたるべく米國に於ても戰爭の初期に於ては戰亂の影響に依りて著しく產額の減退を示したるも戰局の進むに隨ひ各交戰國よりの需要增加し千九百十五年には各國よりの註文一時に蝟集し來り隨つて唯一の供給者として製產に努めたる結果昨年の如きは銑鐵の產額每月三百廿萬噸平均を示し鋼鐵の輸出量も戰前に比し約七百四十萬噸を增加するに至りたり而して平和克復後に於ける世界の製鐵事業が△如何なる變動 を現はすべきやを豫測するに英獨兩國が戰前の生產に復して世界に鋼鐵を供給し又佛白兩國が戰前の如く其產鐵地を恢復したる場合に於ては勢ひ世界的需給の關係は變化し今日米國が供給に應じつゝある七百餘萬噸の供給過剩を來すべき筈無しと云ふべからざれども一面獨逸は自國內に於ける鐵鑛總產額の約五十八パーセントを產出するアルサス、ローレン二州割讓に依り同國產鐵額は戰前の約半額位に減退すべく之に反して佛國の鐵產額は大增加を來す次第なるも石炭との關係上△佛國の鐵產額 は其割合に增加すべきことは期待し難かるべく白國に於ては佛國より鐵鑛の供給增加により多少鐵產額にも增加を來すべく英國は戰前の狀態に復歸する位のことなれば結局獨逸の鐵鋼輸出額の減退するだけは米國が之に代りて輸出供給を繼續すべしと豫測せらるゝを以て米鐵の大過剩を見るが如きは恐らくこれ無かる可しと(東京)

(雜誌抄)

◆殺菌力を有する食物◆

◆梅干 買つて直ぐ食る物で殺菌力を有するのは梅干である。梅干に窒扶斯菌が附着すると二分間で著しく減少し五分間で全く無くなる

◆澤庵 にも殺菌力がある、然し之は梅干程強くはなく、全く殺菌さるゝまでには七時間乃至十時間、時には廿四時間もかゝることがある

◆醬味噌 は案外殺菌力が強い、一時間乃至三時間で窒扶斯菌は殆ど減少し途に無くなる、但し古くなつた醬味噌には殺菌力はない

◆菓子 では甘い物ほど殺菌力が強い、砂糖の結晶しかけた餡物の如きは安全で、砂糖の淡いものは黴菌に對して危險である

本紙定價 [illegible] 廣告料金 [illegible] 發行兼編輯人 奥山直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號 [illegible]

廣告

來る大正八年一月一日新年祝賀の爲名刺交換會を開催し以て往客の禮に代へむとす御賛同の諸彦は左記事項御承知の上會費金七十錢を添へ京城府廳庶務係へ申込まれ度し

大正七年十二月十八日

己未元旦京城名刺交換會發起人

釘本藤次郎

金谷充

一會場 南大門公立尋常小學校樓上

一日時 大正八年一月一日午前十一時

一申込者 は名刺調製上必要に付任所(在勤先)氏名(原籍府縣)のみを記入する事

一申込期限 大正七年十二月廿四日限り(期限經過後は一切謝絕す)

日本一

ほまれ味噌

日本醬油株式會社

京城出張所

電話長二四五番

スワン石鹸

嘗て一世の英雄ナポレオンを威壓した「冬」と云ふ強敵が突進目睫の間に逼つています。諸君は夫れに對する準備が出來てゐるであらふか?

平和來る!

然し強敵は何時も諸君をつけ狙つて廻る

唯一の秘訣は

諸君の皮膚を鵞毛の如く白く滑かにするスワン石鹸を不斷使用して皮膚に防禦工事を施される事です。

製造元 日本リーバー・ブラザース株式會社

キリンビール

クリスマス玩具各種

各地名產ノ珍味

洋酒 罐詰 折詰

洋菓子 洋風生菓子

例年の通り本月十五日より歲暮並にクリスマスの御贈答品陳列左記の景品附賣出し仕候

御買上金額一口金貳圓毎に籤壹本

壹等 女持金側時計

貳等 勸業債券

參等 金五圓呉服券

四等 甘味葡萄酒

五等 四合瓶 月桂冠

六等 ホーオーミルク

七等 オペラローゼンチス

八等 キヤラメル

九等 書簡用封筒

十等 郵便はがき

商品券

弊店發行の商品券は左記の本支店共通に付何れの店にても御不便無く御引換可申上候

東京 横濱 名古屋 京都 大阪 神戸 門司 福岡 金澤

宮內省御用達

京城本町壹丁目

明治屋京城支店

電話二二三番 一七二三番

葉卷 紙卷 煙草

◇講和意見一致 佛米

佛國某高官は曰く佛國と米國とは講和意見に關し全然一致せりと（巴里電報）

◇大統領法王訪問

ウイルソン氏は二十二日伊太利に赴き羅馬法王を訪問す可し（巴里電報）

◇伯林形勢益險惡

伯林に於ける形勢は益々險惡に陷りつゝあり勞働者及び兵隊はリーブクネヒトを推戴せん事を要求せりと（華盛頓電報）

◇前獨皇帝の消息

前獨帝自殺の報は其際之れを遮りたる參謀より出たるものにて近時前獨帝は痛く意氣銷沈せりと（紐育電報）

◇前獨帝一族移轉

前獨帝一族はワグネンゲンに壯麗なる城廓を借入れ近く同地に移轉す可しと（アムステルダム電報）

◇社會主義的軍隊

エベルト首相の組織計畫か

伯林よりの報道に據ればエベルト首相はスパルタカス派の勢力を覆す爲め社會主義的軍隊を組織するに至る可し勞兵會もエベルトが最高權力を掌握し居るを認めたりと（華盛頓電報）

◇イ卿生産樂觀

インチケープ卿はピーウ會社年會に於いて今後十年の前途を樂觀し『勞働者問題就職問題は毫も憂ふるの要無く今後十年間は絶大生産の時期たる可く此の期間一人に對し三個の仕事あるを見るならん』と言へり（倫敦電報）

◇米國大藏卿新任

ヴァージニャ州選出議員カーター、グラッ氏は大藏卿に任ぜられたり（華盛頓電報）

◇小露人獨立議決

米國に在る小露西亞人は小露西亞に於て獨立民主的共和國を建設せん事を講和會議に要求せん事を議決せり（華盛頓電報）

◇英國艦隊レーベル入港

露國政府抗議を提出す

英所著電＝巡洋艦三隻驅逐艦三隻潜水艇六隻合計十二隻より成る英國艦隊は去る十二月波羅的海レーベル港に入港したるが這は過激派に對する示威的運動にして露國政府は右に對し內治干渉に亘る行動なりとて抗議を提出せり（東京特電）

◇日本に調停依賴

セミヨノフ將軍はコルチャック將軍を認むる代り若干の條件を提出し日本に調停方を依賴したるが多分解決の見込みなりと（新聞電報）

◇セ將軍妥協條件

英佛代表者にも調停を依賴す

セミヨノフ將軍はコルチャック將軍との確執に就き日本に仲裁を依賴し同時に英佛代表者に對しても同樣の依賴を爲したる由にて近く在哈爾賓佐藤總領事と佛國辨務官ルニヨール、英國代表者エリオット氏等會見し右妥協策を講ずるに至る可し而して妥協條件は（一）セミヨノフの復官（二）セミヨノフはコルチャックの執政に服する事（三）セミヨノフの部下は現役の儘据置き給養に關する費用を與ふる事等なりと（東京特電）

◇梁議長辭職意圖

梁士詒氏の參議院議長辭職は參議院を自然消滅に歸せしめ以て國會の存續を不可能ならしめ之により和平成立運動に自由の立場を得時局解決後勢力を得ん爲なるが如し（北京特電）

◇參議院議長後任

參議院議長後任は李盛鐸氏呼聲高し（北京特電）

東京現株中値

十八日 東株 新株 [illegible]

◇李純和議仲介脫退

李純氏は國務院に急電を發し『軍人の和議干與は嚴禁するとの命令なれば予は茲に軍人の職分を守り仲介者の位置より退かん』と申し出たり（上海特電）

◇孫氏等和議反對

上海の孫洪伊、唐紹儀氏等は段祺瑞氏一派を逮捕せざれば和議の見込無しとて和議破壞に努めつゝあり孫逸仙氏亦同意見なるが如し（北京特電）

◇總督首相訪問

長谷川朝鮮總督は十八日午前十時半首相を官邸に訪問せり（東京特電）

◇小幡公使通過

新任支那公使小幡酉吉氏は十八日朝下關着朝鮮經由赴任の途に就けるが京城通過は十九日朝なるべしと（門司特電）

◇張中將通過

北滿駐屯各國軍慰問の爲大總統侍從武官陸軍中將張樹元氏は隨員五名を從へ十八日朝來長午後十一時發東清線列車にて北行せり（長春特電）

◇派遣軍政務部

顧問囑託

內務省參事官山田順次郎、書記官海原重義、監察官守屋榮夫の三氏は今回陸軍省の囑託を受け西伯利派遣軍政務部顧問として西伯利に渡航する事となり來る二十一日出發四五箇月滯在す可しと（東京特電）

◇臺灣教育令制定權限案可決

十八日樞密院議會にて臺灣教育令制定の權限案可決されたり（東京特電）

◇鮮銀株券交付

朝鮮銀行にては二十日より新株券を株主に交附する筈なりと（東京特電）

◎京商事業計畫案募集經過

京城商業會議所にては最近資金の充實せる內地資本家が植民地放資の途を求め事業の選擇或は其の計畫に關し同所に照會し來る者夥しからず朝鮮の産業が愈勃興すべき機運に熟し來れるを感じ資本金五十萬圓以上を以て朝鮮內に企業し得べき各種事業（鑛山採掘業は之れを除く）の經營計畫案を募集し以て資本の金額、企業所、管理組織原料及び其の蒐集販路及び販賣法收支計算並に目論見書等に就いて廣く名案を求むるところありしが其の募集締切り期日は本月末日なり而して一時之れが延期說ありたれども既に相當の應募者もあり相當の事業計畫者もあるもの如く旁締切り期日は延期せず締切り審查發表は來春三月頃となるべきかと

◎間島運輸狀況

間島運輸組合自足運賃は間井村より會寧まで石五圓豆滿江渡し四圓五十錢單獨搬出石六圓以上六圓二十錢にして一圓以上の差あるより運輸組合契約馬車以外は殆んど

◎朝鮮に於ける保險事業概況

支店代理店千二十九個所

朝鮮に於て保險事業を營むもの大正六年四月より七年三月までに於ては內地會社四十四社、外國會社十社、計五十四社にして前年に比すれば內地會社一社を減ぜり、而して之れを事業の種類別に分てば生命及び傷害保險を專業とするもの二十八社（內地會社二十七、外國會社一）火災保險を專業とするもの十四社（內地會社七、外國會社七）海上保險を專業とするもの三社（內地會社）數種の保險を兼營するもの九社（內地會社七、外國會社二）にして是等會社の支店、支部、出張所又は代理店の數は千二十九個所を算し前年に比し

▲六十七箇所を增加せり大正六年に於ける事業成績の概要を擧ぐれば次の如し

	生命	傷害	計
新契約高（件數）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新契約高（金額）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
解約高（件數）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
解約高（金額）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
年末現在契約高（件數）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
年末現在契約高（金額）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
收入保險料	[illegible]	[illegible]	[illegible]
支拂保險金	[illegible]	[illegible]	[illegible]
保險金の外契約に依り支拂ひたる金額	[illegible]	[illegible]	[illegible]

	火災	海上	運送	信用	計
新契約高（件數）	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新契約高（金額）	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
解約高（件數）	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
解約高（金額）	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
年末現在契約高（件數）	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
年末現在契約高（金額）	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
收入保險料	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
支拂保險金	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
保險金の外契約に依り支拂ひたる金額	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大正六年中の生命及傷害保險新規契約高は件數一萬千九百三十六金額一千九十四萬八千八百五圓にして前年に比し三千百三件（三割五厘）三百五十三萬八千九百六十四圓（四割七步）の增加を示し大正二年及び三年を絕頂とし大正四年より大正五年迄

▲漸次減少を示したる保險事業の成績は大正六年に於て保險の觀念強固ならずして新奇を追ふの熱情に驅られ一時保險加入者を激增せる反應の趨勢は茲に一轉し保險思想の發達と經濟狀態の向上に伴ひ保險事業の順調なる發展を示せるものと謂ふべく大正六年中の保險解約高は四千九百九十一件、四百廿三萬六千七百八十九圓にして前年に比し七十八件（一步五厘）九萬七千九百六十六圓（二步三厘）の減少を示し新規契約高の增加に反對の結果を見るは保險事業の順調なる發展の事實を一層明確ならしむるものなり年末現在契約は三萬七千三百四十二件三千百二十萬千九百四十四圓にして前年に比し六千九百五十四件七百六十四萬六千百三十七圓の增加を示せり損害保險に在りては火災、海上、運送

▲信用等各種の保險を通じ新規契約高八萬五千百六十八件、一億六千三十九萬二千三百五

◇重要問題凝議

田中陸相、加藤海相は十八日午前十一時官邸に原首相を訪問し何事か凝議するところあり午餐を共にし午後內田外相、野田遞相參加して或重要問題に就き長時間凝議し同三時四十分各相踵で退出せり（東京特電）

◇西園寺侯出發期

西園寺侯は一月初旬印度洋經由の汽船にて出發渡歐の途に上るべしと（東京電報）

◇萬國博覽會開催

明年三月講和成立布告さるゝ頃佛國里昂にて萬國博覽會開催せらるべしと（倫敦電報）

下關期米特電

十八日後場 [illegible]

大阪電報未着なるも前場强硬の機先前止めの暴落報ありし爲め中三十圓八十錢先三十圓六十錢三十八丁方大下放れに寄付六十八錢と搖ねしも賣物多く六十錢と押し [illegible]

▲先限一節三十圓六十錢四錢二錢七錢八錢四十錢三十九錢八錢七錢 [illegible]

◎蠶種製造狀況

京畿道管內本年中に於ける蠶種製造狀況を聞くに製造者六十七名春蠶五萬八千二百四十八枚夏蠶種六千零五十枚秋蠶種三萬零八百九十四枚合計九萬五千百九十二枚を算せり以上は販賣用なるが尚此の外に配付用として春蠶六千五百六十四枚夏蠶種三百六十一枚秋蠶種三千五百十八枚にして合計一萬零六十三枚なりと

◎京畿林野拂下

京畿道楊州郡州內面維楊里山四十五番地林野面積アカマツ三百二十八本ハンノキ五十本同郡同里山卅一番地面積一町二反六畝步アカマツ四百十一本クヌギ四十九本ハンノキ四本を拂下入札に附するを以て入札希望者は各自見積金高の百分の五を添へ右買受け希望者は京畿道廳又は楊州郡廳に就き契約事項入札心得書圖面及び實地踏查の上大正八年一月七日午後六時楊州郡廳に於て入札し即時開札の筈なりと

◎兒島總長歸任

全羅南北道巡閱中なりし兒島警務總長は十八日夜九時十分南大門驛着列車にて歸任せり

◎寺島大佐巡閱

京畿道警務部長寺島大佐は寺島警視及び砂土原警務部を隨へ利川水原烏山管內巡閱の爲め四日間の豫定にて十八日朝出發せり

◎電報通數と料金

本年十月中京畿道に於ける電報通數及料金狀況を聞くに內國發信三十萬三千百九十六通著信三十萬零三百六十一通小計六十三萬三千五百五十七通外國發信六百八十二通著信二千百十一通小計二千七百九十三通なり而して右に對する料金は內國料金一億四千三百十七萬九千零八十九圓外國料金一億三千七百九十萬二千二百九十圓合計二億千四百五十五圓にして前年同月の八十七百零六萬二千四百五十五圓に對比する時は三割五分四厘の增加を示せり

◎議和一障害

主戰派の弄策か

南北和平問題に就き北京政府が土匪討伐に名を藉り奉天派の一部を福建に送り又同じく土匪討伐の名目の下に兵を陝西に進めし爲め廣東國會に於ては是れ北方が眞に世凱の故智に倣ひ右を和平を唱へ左に戰備を爲すものなりとて非難起り爲に軍政府は本月十日岑春煊始め各政務總裁連名を以て徐總統に電報を發し右の次第を指摘し若し陝西に於て停戰せず又福建に於て進兵を停止せざるに於ては是れ北方停戰の實なきものなり南方も亦之に備へざる可らず若し和平を欲せば曩日の停戰命令通り一律に又誠實に停戰せば和議何に依りて成らん陝西福建問題は平和會議の先決問題なり冀くば大局の爲に圖られんことを云へり右に就ては北京の外交團及び上海の領事團にても問題となり居り矢張り北京主戰派の一部が將來の爲め小策を弄せる疑ひあり即ち曩般五箇國公使勸告の際徐總統は全然同感の旨を以て挨拶を爲せしも陝西福建の進兵未だ止まらんとす斯の

◎榮洋行の發展

從來京城本町二丁目に營業をなしつゝある京城永樂町二丁目榮洋行にては今般大連輸入商西川光二郎商店の朝鮮代理店として米國ビューイック號、ハロン號各自動車及びパブリック號、貨物自動車及び其の他部分品等の販賣を引受け大いに活動を試みる由なり

信ずべき理由あり結局五箇國に於ては更に何等かの手段を講じて如き障害を除去するに至るべしと思はる（北京）

人爭消息

▲西原保氏（東京實業家）十八日夜入京
▲吉谷泰夫三有公司主 同上
▲芥川正氏（釜山日報社長）同夜入京
▲大内暢三氏（代議士）十八日夜入京

◎鳥瞰錄

▲二階堂保則氏の古美術品に對する造詣あり同氏は李王家博物館を見物したのだが此に縹渺する所あつて歐米の博物館にも比肩すべき立派なものであるが李王家博物館では殊に素敵な掘出物をすることがある、又東京でも骨董店から依賴された品物の一たる如意輪觀音像が最も好くつて頗る高價な物である▲此像は千四百年前に製作に係る逸品で其の顏面の相は實に柔和で美しい、斯う云ふのが歐米に行くと是れと同じものが製作されて居る、△製作の時期は彼に比して稍遲れて居るもので觀音の彼も亦已に成佛して居る以上一種の成熟を備へて居るが此の彌勒の像は元京城の骨董屋の店にゴロゴロして居たので俺は外國人の手に買ひ取られようとする所を寺內さんが聞き込み言ひ値の二千圓をポンと投り出して即坐に買取り總督府博物館に寄附したのださうで『寺內さんは全く一介の武辨ではありませんよ』とひどく感服した▲尙ほ氏は歸京の途次、奈良にも立寄り、同館にも同じく如意輪觀音の像のあるのを見て『我國に所謂推古式と云ふ佛像は此三韓時代の作品で此時代の朝鮮出來のものが優つて居るが下つて新羅時代即ち我が天平時代に於ては既に我國の作品の方が優つて來た▲下つて彼地の高麗時代と我鎌倉時代とを比べると益々朝鮮作品は衰へ、李朝に至つては全く見るに足るものが無い、朝鮮文化の衰退と我國文明進展の徑路は此彫刻の盛衰の上にも好く現はされて居る』と

廣藝

▲□の譽 十九日から [illegible]

一、法人登記公告

淮陽金融組合變更登記
一、大正七年十二月七日朝鮮總督ノ認可ヲ經テ組合ノ目的ヲ左ノ通變更シタリ
一、組合員ニ對シ其ノ經濟ニ必要ナル資金ヲ貸付スルコト
二、組合員ノ爲ニ預リ金ヲ爲スコト
三、組合員ノ爲ニ其ノ生産物ノ委託販賣ヲ爲シ又ハ組合員ノ爲ニ其ノ生業ニ必要ナル物品ヲ購入シテ組合員ニ之ヲ賣却スルコト
[illegible]
大正七年十二月十四日登記
京城地方法院淮陽出張所

李根化所有ノ不動産

京畿道水原郡南面水眉里李根化所有ノ同道龍仁郡邑三面所在ノ不動産ハ目下亡李學[illegible]
[illegible]

能野商會

今般閉店致し候間關係無之候
京城吉市町十四番地 材木商 市川貢 能野商會

最新刊 南大榜 提唱碧巖集 送料十八錢 一、五〇〇
西伯利案內 定價七十錢 送料六錢
織田氏時代
日本商業地圖 定價一圓六十錢
大正八年度日記類 全部荷揃候
京城本町一 大阪屋號

御召工合 良き靴 種々
內田靴鞄問
東京芝區櫻田伏見町

寫眞 京日寫眞製版部
寫眞銅版、亞鉛版、 熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と懇切を旨とし御高需に可應

絕對品質本位

味噌界の最大權威
壹日の製產高參千貫

みなと味噌

製造販賣高滿鮮第一位

◇地方特約店◇
安東縣 渡邊支店
奉天 小杉洋行
奉天 伊勢作支店
長春 丸平洋行
長春 林洋行
哈爾賓 丸平洋行支店
大連 伊勢作本店
撫順 大和屋洋行
新義州 渡邊支店
平壤 平井商店
清津 德田商店
元山 小野文吉
裡里 土車商店
太田 堀米商店

製造元 京城 嶋屋本店

博文館 大正八年 日記類

當用日記
洋裝美本総紙各項を洩ふ
大形上製 壹圓
中形總革製 [illegible]
中形上製 九拾錢
中形上製 七拾五錢
中長形上製 六拾錢
小形上製 五拾五錢

懷中日記
洋裝美本體裁瀟洒携帶至便
長形上製 貳拾八錢
長形並製 貳拾貳錢
細長形上製 參拾貳錢
細小形上製 貳拾四錢

ポケット日記
ABCは記載欄豐富にして携帶至便且つ九上の筆記用に適し體裁瀟洒內容最も充實せり。
DEFは形態小さくポケットにチョツキに携帶至便、G號は細長形にして清新愛すべし。
總革裝幀僅美三方金各函入
A號 八拾五錢
B號 七拾錢
C號 壹圓
最新形總革三方金縁各函入
D號 四拾五錢
E號 五拾錢
F號 四拾錢
G號 四拾八錢

英文 當用日記 懷中日記
中形總洋布美本 七拾八錢
長形三方金 吸取紙附 五拾貳錢

小學生日記
中形洋裝美本 四拾五錢

家長原簿
大形美本裝幀二種 最新式兒童用日記
上製 壹圓六拾錢 特製 壹圓八十錢 送料各十二錢

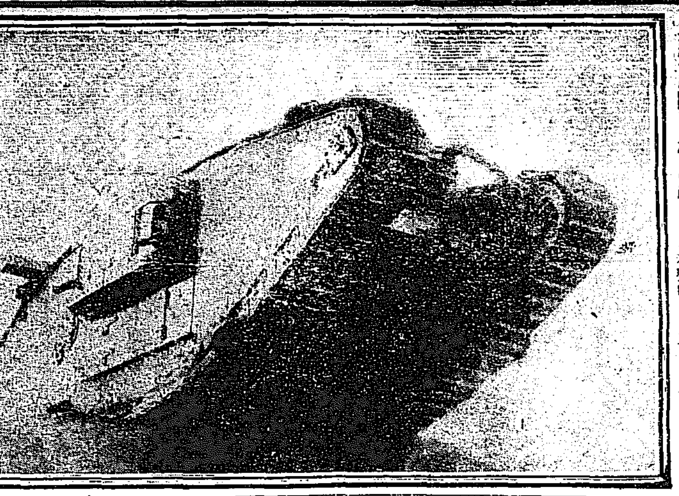
家計日記 出納記入帳
二種共中判洋美本 甲種 乙種 各卅二錢 郵稅各六錢

家庭日記
中判洋裝五百餘頁 七拾五錢 郵稅八錢

東京市本町 博文館 振替東京二四〇番

仁川期米
▲十八日後場（遂に瓦落す）
大暴落を演じ値下げ…結局四十錢と不勢の散會を告げたり
仁川米豆取引
十八日の二月限

☆タンク數臺を佛蘭西へ註文した



先般英國より到着の裝甲自動車は目下世田ケ谷村櫻根なる新設自動車隊に於て操縦及び裝置等につき夫々研究練習中なるが陸軍省にては先般佛國陸軍に於て使用せる小型裝甲自動車（ベビータンク）數臺の購入方を目下同國政府に照會中なるが價格其他返信あり次第購入臺數決定すべく之れが操縦に關しては或は兩國陸軍より教官を招聘するに至るべきかと（東京）◇寫眞は世田ケ谷にある裝甲自動車◇

□李王妃御東上か

其時機が來るかも知れぬ

御慶事には御參列がないにしても今に

國分李王職次官の談に曰く王世子殿下の御婚儀に際し李王殿下が御參列の爲め御東上になるか何うかはまだ決定して居らぬが御健康その他の御事情から假令御婚儀には御參列が出來ぬにしても何れ適當の機會には兩陛下へ親しく御禮の爲め御東上になるであらうしその際は李王妃殿下を御同伴遊ばすやうな事になるかも知れぬ然し是は私一個の想像であるが萬一是が事實になれば誠にめでたい事であらうと思ふ尚李王殿下御名代として李堈公殿下が御東上相成るやうに傳へるものがあるが是は今から御相談致すことでまだ確定した譯ではない

▽女官と御用掛　方子女王殿下が目出たく李王家へ御輿入の曉は永年奉仕の老女を始め女官數名は女王殿下と共に王世子邸へ入るべく尚御用掛として王世子邸へ一名李王職へ一名宮內官吏配屬さるゝ筈なるが右の中李王職へ配屬さるゝは櫻井御用掛なりと

○戰時手當を一時に撤廢するな＝兵庫縣で注意

常に救濟基金を積み貯蓄を挺勵し職工人夫を厚遇して主從調和せよ

兵庫縣當局は嚢に職工失業問題に處すべき救濟方法に就き協議しつゝありしが此第一著手として縣下一千五百の工場、職工十五萬人の內、工場四百六十職工三萬五千人を包含せる神戶兵庫兩警察署に十四日午前十時より卅人以上の

▲職工を使用　せる工場八十の代表者を招集し山口縣工場課長中林兵庫署長、土居警察部警視萩原技師等之に會同して工場設備を完全にし工場閉鎖職工解雇等の際は常識と温情を旨として事に當り殘業歩合手當等は不景氣也として

一時に撤廢　するとなく徐々に之を減じ成るべく待遇を厚くなし基本金を設けて紛議の際の救濟に當て一方貯蓄獎勵を徹底的に行はしめ又人夫手傳ひ等の臨時雇を常雇同樣とし輕視せざる樣心得常に警察と聯絡を保ちて紛擾の場合は直ちに通知し事を未然に防ぐに努むべき旨の訓諭を與へ山口工場課長は勞働者に對する

▲世界の趨勢　を說き勞働者と資本主並に企業家は常に調和して事に當らざる可からざる所以を說きて散會せり（神戶）

○明春京都に染織博

會長三井八郎次郎男

明年四月一日より五月三十一日迄京都岡崎公園勸業館にて開催の全國染織工業展覽會は大正六年以降の本邦に於る染織品、染料藥品、參考品等を網羅すべく總裁は九鬼隆一男、會長は三井八郎次郎男が推薦許諾を得たり（京都）

○早く日本に來て……助かった

露國公爵語る

茶、皮革等の販賣を業とせる極東貿易會社の日本特派員にして横濱旅館大和根に妻子と住居せる露國公爵ニゼーラルゼー氏（三〇）は十六日シンビルスク號にて浦鹽より來着し金ケ崎埠頭料理店とカド軒に休憩中語りて曰く予が一家の如き

◆露國公爵　にして大地主たるもの四十餘名を算せるが總て過激派の爲めに土地を沒收せられ而して其過半は悲慘の最期を遂げたり予の父は革命時代の到達すべきを豫想し何事も經驗を得め非常の場合に應ぜざるべからざるを訓戒しつゝあり爲め予は昨年三月妻子と共に早くも莫斯科より浦鹽に避難し

◆悲慘なる　境遇を免れたるのみならず却つて風土絶好なる日本に住居するの機會を得しは大なる幸福を感ずる處なり

○郵便局の窓に

映じた暮の景氣

暮の景氣の好い事は屢々記した通りであるが茲にその反映と見るべき面白い統計があるから紹介する京城局について訊くに

△年賀郵便　去年十二月十五日の引受數は五千通同じく十六日は五千六百通であつたが今年は十五日に一萬通、十六日に一萬六千通を引受けた

△小包　去年の引受數は十五日に九百個十六日に八百八十一個であつたが今年は十五日に千三百個十六日に千二百個と云ふ事になつて居る

△爲替貯金　去年十二月一日から同十六日までの窓口受拂は百八十一萬五千圓であつたが今年は同期間に殆んどその倍額三百五十萬五千圓と云ふ大金が取扱つた

△端書賣捌高　昨年十二月一日より十六日迄四十一萬枚本年同期間五十二萬枚

何れを見ても素晴らしい激增。如何にこの暮の景氣が好いかは是でも判る

又復兼二浦の爭鬪

鮮人夫支人職工等數百名

＝十八日午前四時漸く靜穩に歸す＝

◆負傷者十餘名、廿三名檢擧さる

十八日午前二時兼二浦市內に於て三菱製鐵所支那人職工鮮人々夫等數百名格鬪して十餘名の負傷者を出したる結果警察署にては署員の非常召集を行なひて爭鬪の鎭壓犯人の檢擧に努めたる爲め同四時頃靜穩に歸したり（兼二浦）

▽原因は……

十七日午後七時頃支那人職工三名が東兼二浦支那人飲食店賓源許方に於いて

◆飮酒中　恰も傍に在りし朝鮮人三名が言葉の行違ひより喧嘩を初め遂に道路に出で、格鬪を初むるや十餘名の朝鮮人が加勢せるより支那人側は衆寡敵せず敗北せる爲め中一名製鐵所に驅けつけ

◆百餘名　の支那人に救援を求めたるより棍棒、刀、鐵砲を手に〳〵引摑み市中に押し出したれば朝鮮人側亦二百餘名加はり遂に大格鬪と爲りたるなりしも警察の活動敏速を極め犯人廿三名を檢擧して漸く靜穩に歸せるなり（兼二浦）

○横濱市中に追剝現はる

露人を脅迫す

横濱市山下町百八十三番館居住露國人プレチコフスキーは十五日午後六時五十分頃同町本町通を通行中白洋服を着したる廿四五歲の追剝現はれプレチコフスキーを脅迫して所持の露國紙幣銀貨を取交ぜ二百五十餘圓を強奪して逃走せり目下其筋にて犯人嚴探中なり（横濱）

○舞踏病＝と角男

總督府醫院の憐れな患者

總督府醫院施療患者中に田戰玉（二九）安三孫（二八）と云ふ男女の舞踏病患者が居るこの舞踏病と云ふ病は眼の醒めて居る間は踊つて踊つて踊り拔く病で食事も踊りながら食ふと云ふ頗る變な病であるそれ故日本食の二本箸ではトテモ食ひ切れず止を得ないからパンを與へて居る之とて尋常一樣では食へない前に置かれたパンによく狙ひをつけて置いて何うかした拍子にパッと口に持つて行くので其間の早さは拾度猫が鼠をとつた樣である男の田戰玉は平安南道の生れで明治四十三年發病して本年の三月施療患者として引取られたのであるが女の安三孫は京畿道生れで明治三十八年發病四十二年九月に入院して既に十一年も同所の御厄介になつて居る病院の方でも何とか醫術を施して見るが何うも効驗が無いので困つて居ると云つて居る尚モ一人は『角男』で昨年醫界の研究材料として內地へ渡つた角男よりもつと非度いので咸北明川生れの鄭白松（三一）で此男は明治四十四年發病して本年三月八日施療患者として入院したのである此男の角は約二寸もあつてそれが身體全面に生へて居るので步行さへ出來ない位である之れに就ても種々と醫術を盡して居るが全治しない之等は先づ不治の病と云つても差支ない位で此憐な病者に對して持地長官の夫人は非常に同情してちょい〳〵著物やお小使を與へて居るさうである

○鮮人模範店員

邊雲祥三度表彰さる

京城本町鮮商金□商釬本店にては十六日同店の模範店員たる二十ケ年勤續の邊雲祥（四四）に對し金五百圓を賞與し夫れが表彰をなしたるが該店員は鮮人として稀なる著實勤勉の好店員として內外の信用を一身に纏めて今日に至れるが曩に十ケ年勤續して五百圓の賞金を受け更に十五ケ年勤續して二百五十圓を賜はりたるものにて都合前後三回の表彰を受けし模範店員なりと

○貯金獎勵の『山の兄弟』

遞信省で公募した活動フイルムの試寫

遞信省にては郵便貯金獎勵方法に就て種々苦心して居る、過般も活動寫眞の方法に據らうと腳本を廣く懸賞にて公募した、夫を今度愈々フイルムに仕上げたので其の試寫を十四日午後三時より遞信省構內貯金局の樓上で催した本省からは田遞相と中西次官以下高等官其他多數見物の際映寫を得た『山の兄弟』外『貯金の勸め』及び保險勸誘用としての『隣同志』等であつた『山の兄弟』の筋は奈良春日山に住む親子五人暮しの樵夫の一家に母が大病に罹り負債に苦しむを見て長男は仕事が勝さに家出し妹は數羽の鷄を飼つて貯蓄した金で弟を大阪の材木商に奉公さして母の藥代に充てる傍ほ鷄の產んだ卵で母の滋養物を與へるそして二人共其一部を貯金した甲斐あつて

◆兄の零落　に反して母の病氣を治し弟は製板所主となり妹は一養雞所の主となつたさいふ筋何れも貯金のお蔭である事を春日山の自然と人の情とを鮮明な寫眞で描き貯金の功德を現はしたものだ『貯金の勸め』は滑稽譚の少年を使つて勤儉と奢侈を矯めたるもの頗る面白い裡に貯蓄心を起させる『隣同志』も面白いものであつた（東京）

年末雜觀

『家內總出』

昨日今日咲きさに浮れの本町通はなかく雜踏を極めて居る、今年は一般に年末賞與も頗る贈與とあつて家內總出で年末年始用の買物をするさ言ふ向きもなかく多い、間がよくば喘ぎの空費、雜踏、喧騷、醉れに手る途で一人で之れを探さ除と云ふのもある、さてく人間にも慾のまるものかな中には紛便の見所を占の本を賣て居るのがある。そこは老若男女何れも己が運性如何と耳を傾むけて居る、エー皆樣今年は便利な賣り占ひの本であります、エー辛年の人は……とやつて居る。

○チャプリンが美しい女優と……結婚した

世界の人氣活動俳優チャプリンの結婚式は幾度か生れ乍ら幾度か打消されて居たが今回到頭眞物になつたもの、發表された處は君なる同じ仲間のミルドレッド、ハリス孃と云ふ活動女優中では一寸と云つて二とは下らぬ美人で此は其通を

秘密　にして置きたいとの希望であつたが世間に洩れなかつたが其內に隱の氣も變りこれを世間に知らせたくなつたので茲に活動界さつての消息通が作の御合の人が今度こう云ふ事になつた夫人は嘗てに發表して居るこの活動女優さしての進むかは未だ何とも判明しないが夫のチャプリンは

現在　通りファースト、ナショナル、エキザビター、サーキュエート會社の爲に百萬弗の契約の撮影に從事する一方ハリ孃……ではなかつたチャプリン夫人はユニバーサル社製作人情劇のフイルムの女主人公として引續き活動するだらうと云ふことである（東京）

○洋服は春から下る

◇毛織物は高い頂上から木綿類は漸次低落に傾いて來たが毛織物には未だ影響はないやうだ

□羅紗類は戰爭前から見ると總て六割以上も高く更に昨年に比べると三割方も高いそれに裁縫賃が三四割高である昨今の相場はメルトン又は駱駝地で春廣一組六十五圓から百二三十圓迄色は鼠又は茶が好まれる

□次に外套類は六十圓以上七八十圓が中通り物で最も賣行きの好いのは百圓內外の所である、フロックコートはズボン地だけでも三十圓以上するから一組が百十圓から二百圓迄位するモーニングは一組百圓から百七八十圓迄あるが總入を承知なれば最低六七十圓で出來る

□此の冬が全く上り詰めた相場で追つて來春からソロ〳〵低落の見込みで次に毛皮類は割合に影響が薄く戰前に比べて平均三割高位これは大差ない最も需要の多い外套用川獺は普通三四十圓上物で百七八十圓、海狸の並物が五十圓上物が百圓

□川獺代用のヌツトリヤが十圓から十四五圓ラッコは一枚二千五百圓から四千圓である

○千代本の開業

元千代本の女將が京城で初めての試みなる廚貸の設計に本町一丁目に新築中のところ愈よ落成したるに付家發な新千代本と名付けて廿一日より開業する筈

特別大提供
殉職せる武士的處決の一大美談
實事慘話　國の譽　全六卷
我日活會社が鐵道院の贊助を得現場に於て撮影せる弔意的大映畫乞御觀覽他作品と比較
噫悲慘事の突發は過る月の今夜
尾上松之助一座大車輪　舊劇　首變り大名
十九日より　大正館

京日案內

◎不用品高價買入　御一報次第參上
黄金町三　電話一八六二　關根古物店

◎簿記係一名入用
希望者は自筆履歷書携帶乞來談
南大門外　電話三二六番　齋藤商店

外務員招聘　營業擴張の爲め
數名採用希望者は出社面談地方は履歷書送れ
京城黄金町二　日清生命朝鮮支社

毛皮なめし並ニ仕立
鳥獸剝製標本類調製鳥類羽賀入
萬毛皮鳥毛製毛剝製貿易商
京城本町二　電話長二〇六五番　神元商行

高等御料理
文那東席仕出し共迅速配達仕候
京城北通　電話八二一番　新世界

◎務専門　並に仕立賣卸小賣
何時でも迅速に調進可仕候
本町四丁目十五番地　山崎商店

外勤員招聘　固定給ノ外歩合
給スル希望者履歷書持參來談
京城若草町百六番地　西村商會

子弟採用　年齡十五年迄十二乃至十五男女
不拘ピアノ、オルガン修繕拔術修得
希望の者は本人直接來談あれ
市內日之出小學校前　杉野樂器店

小包箱製造　空箱賣買
荷造會社前（電話二〇八一番）
本町一丁目　長谷川製箱所

景品附大賣出し

御買上の最好機會！

意匠と技巧の優秀にして種類の豐富なる
大澤商會の
時計と貴金屬

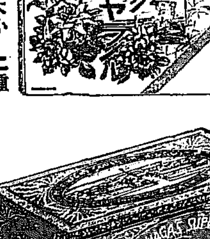
品質の非凡と直輸入品は
大澤商會の
寫眞機と材料

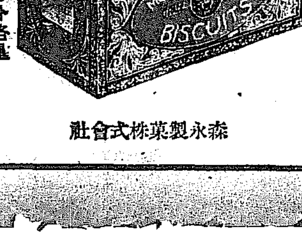
構造の堅牢と輕快なる
自轉車各種

京城本町一丁目
大澤商會京城支店
時計部電話長二六二番
寫眞部電話三三九番
自轉車部電話長四八〇番

十二月十五日より三十一日迄
▲錦紗御召物、丸帶、縮緬長襦袢、紋付類高貴男物、其他長トンビ類
景品附歳暮大賣出し
安心して買へる正札店
あわじや
京城本町二丁目　江頭衣服本店　電話一三二五番
京城本町一丁目　江頭衣服支店　電話九一七番

森永の菓子

歳末年始
御贈答用
いづかたも
およろこび
瓶詰菓子　各種


森永ミルクキヤラメル
進物用　大小　二種


ビスケット各種
森永製菓株式會社

新案獨學　イロハ辭典付
鮮語自在
笹山章著
發行所　ウツボヤ書店
誰れにもすぐに間に合ひ
「必ず上手になる理想的新案獨學書なり」
著者は鮮語獨習の見な價き從來の所謂獨學書類と其撰を異にし國に一新機軸を出し特に新案の文字を冠せり
上欄にはイロハ辭典及朝鮮地名集を付す
本文には諺文の組立、文法、單語、會話、時用單語（譯語略語）對話、作文等鮮語に關する一切を網羅せり
ポケット形二百頁
定價金五十錢
送料金二錢
代引小包七十錢
發賣元　京城太平通　京城日報社代理部（振替京城三〇〇番）

母と子　（五十六）

北島春石作　森田久畫

陥穽（三）

淡紅子は逸早くもそれと悟り、おなじやうに聲を打潜めた。

『だから、お父さんの味方だと言つてるでせう。何でも遠慮なく仰有つたがいゝわ。』

『まつたく阿母には内證だぞ。』と朔平は内懐を探つて取出した袱紗づゝみを、慌てゝ淡紅子の袂へ押し込んだ『今日銀行へ持つて行けばよかつたが……なあ、これには七千圓近くの大金が入つて居ると云つて、何も相場で儲けた譯ではなく、お父さんが死物狂ひで駈廻つて拵へた大金。つまり、高松家の全財産とも云ふべきだが、都合で今夜一晩だけ預けるから、お前に一つ寝ずの番をして貰ひたい。』

『まあ！』とばかり待てば海路の日和とはこの事、苦心慘澹、三日あまりを碌に眠りもせず、何うしたものかと苦勞をしてゐたそれが容易く〳〵と手に入つただけ、淡紅子には却て不氣味にも思はれ袂の上からそつと撫廻しながら、

『ほんとに……そんな大金が入つてるますの。』と半信半疑、

『嘘を吐いて何うするか。』と、幾分か安堵した臉『迂濶に預かられたのぢや困るぜ。この金が蛙にでも化て見ろ、俺は腹を切らずば納まらんのだ。』

『ぢやい、わたしよかい、お母さんにお預けなすつたがいゝでせう。』

『お増か。』と唾んで吐き出すやう『多分は猪狩の饒舌家が電話でもかけたんだらうが、俺が金を摑んだのを知り、酒機嫌でふら〳〵と歸つて來ると、いきなり懐中目がけて飛付き、此奴を捲上げようと掛やがつた。そこで打つ、蹴る、引掻く。跡がおさだまりの泣く喚くさいよ癲癇騒ぎ！なあ、愆う言つてる中にも、阿母が暴れ込まぬとも限らんから、大急ぎで何處へか隠してくれ』

『ぢやい、御褒美には夜光珠の指環をね。』

『たつた今夜一晩だけだ！阿母がいくら泣きつ喚きつしようと、決して出してくれるな。』

『ね、！わたしがお預りしたら大丈夫。』

何が大丈夫なものか。これ程、危つかしい事はないのだが、その袱紗づゝみを箪笥の抽斗へ藏ひ、淡紅子がピンと錠をおろしたのを見ると、朔平は始めて吻と息。と、果せるかな、茶の間の方が俄かにがや〳〵と騒ぎ立つ。

『あれ！何うなさいましたので……奥様、氣をお鎮めにならなければいけませんよ。』

『止めておくれでない……い、ゝね、誰も止めておくれでない。今夜こそは、わたしだつて立派に覚悟してゐるんだから。』

お竹が何と制止しようと聞入れゝばこそ、今まで泣伏してゐたのがふいに飛起きると、お増は眞物の氣印になつたかとばかり、血相變へて淡紅子の部屋へ闖込んだ。

『貴郎！』と、いきなり良人の胸倉をとつて

『殺して下さい！殺して下さい！さあ、わたしを殺して下さい。』と喚き立てる『三日も四日も家をあけながら、歸つて來れば女房をこの始末……今夜はもう〳〵愛想も盡き果てた。家出した志保子を囮に儲けたお金を手つかずに出せばよし」さもなかつたら、一思ひにわたしを殺して下さい。』

『氣狂婆め！未だ夢を見てるのか。』と、その手を逆に捻上げて突放し、朔平は女房の横面目がけて紙入を叩きつけた。

『俺がそんな大金を持つてゐるかい。それ程疑ふなら、何處でも探して見やあがれ。』

痛さを堪へて素早く拾ひあげたお増は、急いで紙入を逆さに振つて見たが、ばら〳〵と散亂したのは料理屋や待合の勘定書ばかり。

『何うだい。』と、朔平は勝誇つた鼻息荒く『これで貴様の氣も濟んだらう。』

お増が呆氣にとられてゐる間に、淡紅子は傍杖を食はない要心して、ふいと臆子の外へ出て行つた。自分が未だ陥穽を拵へ居らぬ先に、先方から此方の思ふ壺へ飛込んで來たのか、何となく怖ろしいやうにも思はれた。

古本買受　御報參上
京城明治町通り　野村書店　電話二〇五〇

牛乳　[illegible]御用
京城東四軒町　岡野牧場　電話一〇六九番

人蔘王丸
京城本町壹・電話　一四八〇　一八七〇番
㋡津村兄弟商會

◇勅題料理（中）　新年の新趣向

▼淡雪は卵白　を皿に入れて鹽を加へよく泡立たせ、それに比良目の肉をそぎよく擂りまして更にまぜ泡と魚肉とを好く混ぜ入れ二三分間にて火通しの上取出してスプーンで山の形にすくひ熱湯に淡雪らしくは體裁のいゝものです、只此のお料理を拵へます時一番注意する事は手際よくする事ですそれでないと折角の泡を消して了ひますから體裁が取れなくなります、次は

▼梅形を作る　のですが『初笑ひ』と云ふので是は小蕪の根で蕪を五角に切り角と角との中央に切り目を入れそれを中心にして花瓣の一ツを作り順次に五瓣の梅形をこし更に薄くむいて梅一輪にしますそして一旦湯にざつと入れ取出して卵黄を中で裏漉しにして小さく丸め梅の芯とするのですが此の時の梅は食紅で紅梅としても亦そのまゝ白梅としても適宜ですが以上三ツを吸物のたねとして椀に盛り出汁を入れて出すのですが

▼却々上品で　お美味い料理です正月の吸物はお客毎に作る事は手數ですから種は重に詰めて置き出汁は一度に濃き出汁を作つて置いて客の見えた時之を薄めて味をつけるやうにしますと便利ですそれには最初に鰹節の削つたもの二合を布袋に入れて湯五合の中に入れ沸騰させ火を止めて其の儘一二分間おき袋を絞り出し之れを一番出汁とします次ぎに同じく湯五合の中に袋を入れて沸騰させ二番出汁をとります而してそれを別に使ふとも或は混じてもよいのですからして一升の

▼濃い出汁を　造つて置けば味はかはらずに保つて居りますから便利です味をつけるには醬油を先にし次に鹽を加へます但し醬油は椀に小スプーンに半杯の割合としますれば恰度宜しくなります（つゞく）

□手袋の洗濯　＝革製毛絲製メリヤス製＝

手袋は其使用の度が激しいだけに汚れ易いものですそれも毛絲とかメリヤス製のものより革の手袋は汚れ目が際立つて眼に付き見つとも無くなります殊に甚いのになると垢のために皮の表面が黒光りになつたりしてまだ

◇何處も破れず　充分使用が出來るものでも汚くなつたために穿めて出られず其儘打捨つて仕舞ふことゝなりますそんな不經濟なことをせずに汚くなれば洗濯が出來ます然し洗濯と云つても他の布地と異つて革製のものは注意しないと仕損じます先づ普通の光つた

◇牛皮製　のものならばテレビン油を羅紗なり何か柔かい布に付け汚れた個所をして摩擦して汚點を拭ひ取るが宜しい又セーム革と云つてナメシ革風の質の手袋なればラックス石鹸で洗濯すれば汚れた所はよく除れます尚此際には

◇ラックス石鹸　を刷毛に塗けてよく洗濯するのです牛皮製の光つた手袋を水に浸けて洗つたりなどしては皮質を損じて皮が堅くなつたりしますから注意せねばなりません、毛絲製のものは湯に浸けると縮みますから水で洗ふのですが手荒い事をせずに叮嚀に洗はないと毛が脱け落ちます

◇メリヤス製　の毛製物なども湯に入れると脱色する恐れがありますから成るべく水を使つて石鹸を刷毛につけよく洗ふのです例へ手袋は垢が付いて黒くならぬまでも冬中使つた後で右の方法でよく洗ひ

◇濕氣に遇はぬ　やう箱へでも入れて高い箇所へ仕舞つて置けば俗に云ふ星などが皮の表面に吹き出して不體裁なものになると云ふやうなことはありません

新刊紹介

▲新報德記（佐々井信太郎著）二宮尊徳翁の傳記を錄したる有益なる著書にて生立、行實、面影等に亘り詳密に叙述したり（一圓五十錢東京麹町内幸町一の四中央報徳會）

▲少年倶樂部（五の一五）南國の冬（三色版）運命の石（オフセット版）等の口繪本文に熱血小説、英傑物語、歷史小説、世界最新智識および戰爭の苦しさ（土屋大將）其他（二十三錢東京本郷駒込坂下町四八大日本雄辯會）

▲朝鮮彙報（一の一二）朝鮮金鑛脈の研究（川崎理學士）或る稀金屬の臨床と其應用に就て（鈴木博士）朱家源宗談、探偵家の栞、朝鮮重要鑛山概況、フエロモリブデナムの製法、其他に於ける製鐵業の趨勢其他商業に關する有益なる記事多く各種鑛業に關する寄稿も掲げたり（四十錢京城南山町二の二七朝鮮鑛業會）

▲少年（新年號）初日の出、職建國の元首、東京の休戰祝賀會、慶應義塾大學のカンテラ行列、二ツの會の口繪の外總紙面賑やかクリスマス、カロル、歷史小説熊谷直家武勇物語、ランスロツト、冒險小説谷底の一夜、少年小説愛馬、日の出號探偵奇譚疑問の吸取紙、野球小説主將の涙、其他興味深き記事多く附錄に大日本海底探檢雙六あり（二十五錢東京々橋南鍋町二の一二時事新報社）

▲日本養蜂雜誌（十二月號）八錢名古屋東區長塀町三の五其社

▲實生活（十二月號）十五錢東京芝皿子町四二其社

▲水産界（四三五）二十五錢東京赤坂溜池町一大日本水産會

▲戰友（十二月號）七錢東京麹町二五二帝國在郷軍人會本部

▲食物の養生（十二月號）十五錢東京牛込市ヶ谷町五一石塚食養所

▲會員名簿（東京第二高女同窓會々報第十七號附錄）東京府立第二高等女學校同窓會

▲柔道（一二）柔道形解説袖の形詳解（突掛）私の背負投其他武術及精神修養に關する有益多趣味の記事を掲載す（二十錢東京小石川大塚坂町一一四柔道會本部）

十四日の午[illegible]金町二丁目の便所前に荷馬車が立往[illegible]なかつた[illegible]の群人は[illegible]悲の鞭を振り上げて打てども擲けども自己の力より重い荷を挽いた痩馬は如何する事も出來ず首を振つて寒風にヒユーと鳴る鞭を浴つてゐるタールで固めた道路の上は前夜の積雪がコビリ付いて鏡面の如く蹄の足がゝりも無い電車は來る馬子は焦せる馬の身になつたら泣きであつたらう周圍には人が群り立つて見て居るが此哀れな馬に同情して車の後を押す者も無い遂に其結果は如何になつたか知らないが兎に角あんな矮小な馬に普通の荷車と積む重荷を挽かせるは不都合だと思ふ之に就て取締方規則はあるか無いか知らぬが當局は今少し考慮して遣り度いと思ふ（某通行者）▲某校の體操教師に一言す小生は貴校貴下の體操の授業を見学するの榮を得ましたされども旧式的で體操の目的なんかには少しも合して居らぬ様にしか眼に映じません精神の無い體操は釣り人形の踊りに等しい速かに改むるの必要無きか（○○）▲郵便局の小荷物係は人員少なき為か不親切なのか時間を經過して困る小荷物を預るに客を一時間も一時間半も待たすは恐らく驚ばかりであらう汽車の出發時に待せらるる客の心を察して貰ひたい（某驛通過客）

◎クラブの雄飛　クラブ化粧品は戰時中外人技師を招聘し化學工業所を起して研究を積み一方海外市場に突進して到る處歐米の競爭品を壓迫し其洋市場は云ふに及ばず或は南洋南米に地盤を築いたが今回平和の克復と共に陣容を整へ新築の工場を背景とし優秀の商品を提げて内外市場に大々的雄飛を試むべく準備着々整へる由なればクラブ化粧品は世界的商品として平和の戰場に立つべしと

美人となる

クラブ白粉

美人となる近道

クラブ白粉の付け方

白粉を付けるには先づ生地を調へなければなりません、夫には

【第一に】生地の美を増す日本名物クラブ洗粉でよく顔から頸筋を洗ひますと、スベスベと天鵞絨のやうな手觸りになりますから

【第二に】皮膚の美を養ふ最新式のお化粧下クラブ美身ゼリーを其の上から塗り、（若し荒性の方ならば、一番よくきくアレ日焼止め常用の美身劑クラブ美身クリームをゼリーの代りに用ひ）指先でよく擦込んだ後、濡タオルで輕く拭取り）ますと、生地がスツカリ整つて參ります、そこで

【第三に】一番高尚で美しい艶の出る天下一品のクラブ白粉を掌に取り、指先でよく煉つて付け、（襟は顔よりも少し淡くする事）牡丹刷毛で白粉を延ばし、水刷毛で白粉を均らし、濡タオルでソツと押へて白粉を落付かせ、夫から

【第四に】お顔にホンノリと櫻色の健康色を出すクラブ頬紅を目の下から頬へかけて薄く刷付けますと、花のやうな艶麗かな色艶が出ます。夫を一層高尚に落付かす爲め、

【第五に】クラブ粉白粉をセーム革に付けて顔に薄く打ち、襟はザツトに粉白粉を含ませて刷いた上を、セーム革で輕く打ちますと、高尚で美しい淑女式のお化粧が忽ちの間に出來上りますので、此の方法に依りますと白粉もよく落付き、お化粧の持も長うございます。

クラブ白粉
牡丹はけ
水ばけ
ぬれタオル
クラブ頬紅
クラブ粉白粉
美人

○海軍追加豫算　[illegible]に於て擱坐沈沒せる宿[illegible]艦装備の兵器其他の器具は出來[illegible]する經費は此際當時引揚可否の調査費として第二豫備金より▲十萬圓を支出し最近に至り同[illegible]と云ふ而して同河内代艦建造に關しては省内に於ても種々の議論ありたるも同艦は十二年度にて第一[illegible]局大體に於て之が代艦たる意味に於て警戒艦一隻或は輕巡洋艦二隻を建造することなれるもの、如くなるも目下[illegible]する艦艇の工事に支障なき範圍に於て建造し得るや否やに關し目下調査中にて同種艦要求は其結果[illegible]江流域警備の任に當るべき還支艦隊所屬河用砲艦建造費は追加豫算の形式を以て要求するに至るべき[illegible]人は益々多事なるべきを信ぜんと欲す如何となれば今後直ちに講和條約に着手することするも之が完結を告ぐるには尚少からぬ日月を要く而も其間假令戰時状態に非ずとするも物資の供給は依然必要なるを以て從つて之が輸送上船腹の需用多きを加ふべければなり而今後一二年間に[illegible]國力の恢復に努むるのみならず戰時中休業状態に放任せし總ての産業施設の復舊に努力する結果として産業の勃興貿易の盛況を招致し[illegible]今後講和の成立と同時に漸次[illegible]度迄低落する免れざる現象なり（遞信當局者談）